

平成 26 年度
IT 資産管理（ITAM）に関する説明会
実施報告書

平成 27 年 3 月



一般財団法人日本情報経済社会推進協会

はじめに

当協会では、平成 22 年度より IT サービスマネジメントの利活用の観点から、ソフトウェア資産管理（SAM: Software Asset Management）及び IT 資産管理（ITAM）に関する調査研究に取り組んでいます。

特に、IT 資産管理（ITAM）は、企業・組織における IT サービスの品質向上、情報セキュリティの強化に有効であるとともに、ビジネスの効率化、システム構築・運用環境の改善を図ることができ、経営の合理化にもつながることとなります。

このような状況を踏まえ、国際標準の ISO/IEC 19770-1（Information technology-IT asset management system-Requirement）に基づいて組織の IT 資産の効果的な管理及び保護のために必要なガイドを策定するとともに、適切な IT 資産管理の普及促進に資することを目的として、「IT 資産管理（ITAM）に関する説明会」を実施いたしました。

本報告書は、平成 26 年度の IT 資産管理（ITAM）に関する説明会でのアンケート調査の集計分析結果、及び経年調査結果についてとりまとめたものです。今後、企業・組織が ITAM を取組む上での一助となれば幸甚であります。

ここに、IT 資産マネジメント評価検討委員会の委員の皆様をはじめ、ご協力頂いた関係各位に対し厚く御礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

一般財団法人日本情報経済社会推進協会
情報マネジメント推進センター

目 次

| | |
|---|----|
| 1. 実施概要 | 1 |
| 2. アンケート集計結果 | 6 |
| 質問 1 参加者について | 6 |
| 質問 2 ソフトウェア資産管理 (SAM) について | 10 |
| 質問 3 IT 資産管理 (ITAM) について | 17 |
| 質問 4 IT 資産管理 (ITAM) の認証制度について | 20 |
| 質問 5 その他 | 21 |
| 3. アンケート集計 (H22~H26 経年調査 (ただし、H25 年は含まず)) | 25 |
| 質問 1 参加者について | 25 |
| 質問 2 ソフトウェア資産管理 (SAM) について | 27 |
| 4. 参考 | 31 |

1. 実施概要

平成 26 年度では、IT 資産管理（ITAM）に関する説明会を次の概要にて札幌/大阪/東京（計 3 回）で実施した。

目的：

近年、民間・公共に関わらず IT 資産管理への関心は情報セキュリティ、IT 投資コストの最適化、更にはコンプライアンス強化の観点から益々高まってきている。

今回はマネジメントシステム規格(MSS)をベースとした IT 資産管理システムとの関連、ソフトウェアライセンスに関する最新動向等、SAM/ITAM 普及啓発のための説明会を開催した。

SAM を含めた IT 資産マネジメントの導入を検討の企業／団体の担当者だけでなく、広く興味や関心をお持ちの方々を対象に、IT 資産マネジメントの概要、それを取り巻く最新動向、及び SAM/ITAM 導入事例等について解説することとした。

本説明会を開催することにより、IT 資産マネジメントの必要性について、これまで以上にご理解いただくとともに、IT 資産マネジメントに対する取り組みを検討する上での一助になることを期待して実施した。

主催：一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

共催：一般社団法人ソフトウェア資産管理評価認定協会（SAMAC）

後援：

BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス

開催日時及び開催場所：

・ 2014 年 10 月 30 日（木）

「札幌国際ビル」国際ホール（札幌市中央区北 4 条西 4-1 札幌国際ビル 8 階）

http://www.itogumi.jp/kokusai_hall/index.html

・ 2015 年 2 月 19 日（木）

「梅田スカイビル」スカイルーム 1（大阪市北区大淀中 1-1）

<http://www.skybldg.co.jp/convention/skyroom.html>

・ 2015 年 2 月 27 日（金）

「グランパーク」301 会議室（東京都港区芝浦 3-4-1）

<http://www.granpark.jp/hall/>

説明会プログラム：

○2014年10月30日（木）－札幌会場

| | 内容 | 講演者 |
|-----------------|---|--|
| 13：30～ 13：35 | 開催挨拶 | － |
| 13：35～ 14：05 | 開催概要： 「ソフトウェア資産管理(SAM)及び IT資産管理(ITAM)に関する 調査研究の概要」 | 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 情報マネジメント推進センター センター長 高取 敏夫 |
| 14：05～ 14：45 | 講演1： 「法律/コンプライアンス面から見た ソフトウェア資産管理の必要性」 | BSA The Software Alliance 日本担当顧問 TMI 総合法律事務所 パートナー 弁護士 石原 修 氏 |
| 14：45～ 15：15 | 講演2： 「ライセンス監査について」 | 一般社団法人 ソフトウェア資産管理評価認定協会 副理事長 田村 仁一 氏 (有限責任監査法人トーマツ 情報テクノロジー パートナー) |
| 15：15～ 15：30 | 休 憩 | |
| 15：30～ 16：00 | 講演3： 「組織に最適なIT資産管理で解決する 情報セキュリティとライセンスコン プライアンス」 | IT資産マネジメント評価検討委員会 委員長 篠田 仁太郎 氏 (株式会社クロスビート 代表取締役) |
| 16：00 ～16：45 | 講演4： 「北海道における ソフトウェア資産管理」 | 北海道総合政策部 科学 IT 振興局情報政策課 情報基盤担当課長 佐藤 文彦 氏 |
| 16：45 ～17：00 | 質疑応答 | 講演者全員 |

○2015年 2月19日(木) - 大阪会場

| | 内容 | 講演者 |
|-----------------|--|---|
| 13:30~ 13:35 | 開催挨拶 | — |
| 13:35~ 14:15 | 講演1: 「法律/コンプライアンス面から見た ソフトウェア資産管理の必要性」 | BSA The Software Alliance 日本担当顧問 TMI 総合法律事務所 パートナー 弁護士 石原 修 氏 |
| 14:15~ 14:45 | 講演2: 「ソフトウェア資産管理(SAM)及び IT資産管理(ITAM)に関する 調査研究の概要」 | 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 情報マネジメント推進センター センター長 高取 敏夫 |
| 14:45~ 15:15 | 講演3: 「クラウド時代の ソフトウェア資産管理 ライセンスの最適化と検討事項」 | 一般社団法人 ソフトウェア資産管理評価認定協会 副理事長 手島 伸行 氏 (日本マイクロソフト株式会社 ライセンスコンプライアンス推進本部 本部長) |
| 15:15~ 15:30 | 休 憩 | |
| 15:30~ 16:00 | 講演4: 「組織に最適なIT資産管理で解決する 情報セキュリティとライセンスコ ンプライアンス」 | IT資産マネジメント評価検討委員会 委員長 篠田 仁太郎 氏 (株式会社クロスビート 代表取締役) |
| 16:00~ 16:45 | 講演5: 「ライセンス監査の実際」 | デロイトトーマツリスクサービス株式会社 マネージャ 小沼 佳洋 氏 |
| 16:45~ 17:00 | 質疑応答 | 講演者全員 |

○2015年 2月 27日（金）－東京会場

| | 内容 | 講演者 |
|-----------------|---|---|
| 13：30～ 13：35 | 開催挨拶 | — |
| 13：35～ 14：15 | 開催概要： 「ソフトウェア資産管理(SAM)及び IT資産管理(ITAM)に関する 調査研究の概要」 | 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 情報マネジメント推進センター センター長 高取 敏夫 |
| 14：15～ 14：45 | 講演1： 「ITAMに関する最新動向 ～最新MSSのITAMへの適用と エコシステム実現に向けて～」 | 一般社団法人 ソフトウェア資産管理評価認定協会 理事長 高橋 快昇 氏 (富士通株式会社 フィールド・イノベーション本部 フィールド・イノベーター) |
| 14：45～ 15：15 | 講演2： 「組織に最適なIT資産管理で解決する 情報セキュリティとライセンスコンプ ライアンス」 | IT資産マネジメント評価検討委員会 委員長 篠田 仁太郎 氏 (株式会社クロスビート 代表取締役) |
| 15：15～ 15：30 | 休 憩 | |
| 15：30～ 16：00 | 講演3： 「法律/コンプライアンス面から見た ソフトウェア資産管理の必要性」 | BSA The Software Alliance 日本担当顧問 TMI 総合法律事務所 パートナー 弁護士 石原 修 氏 |
| 16：00～ 16：45 | 講演5： 「ライセンス監査の実際」 | デロイトトーマツリスクサービス株式会社 マネージャ 小沼 佳洋 氏 |
| 16：45～ 17：00 | 質疑応答 | 講演者全員 |

参加者数

| | 日程 | 会場 | 定員 | 申込人数 | 参加人数 | 参加率 |
|---|------------|---|-----|------|------|------|
| 1 | 2014/10/30 | 札幌会場(国際ホール) (札幌市中央区北4条西4-1 札幌国際ビル8階) | 100 | 40 | 44 | 110% |
| 2 | 2015/2/19 | 大阪会場(スカイルーム1) (大阪市北区大淀中1-1 梅田スカイビル) | 100 | 50 | 42 | 84% |
| 3 | 2015/2/27 | 東京会場(301会議室) (東京都港区芝浦3-4-1 グランパーク) | 200 | 221 | 151 | 68% |
| | | | 計 | 311 | 237 | 76% |
| | | | | | | |

2. アンケート集計結果

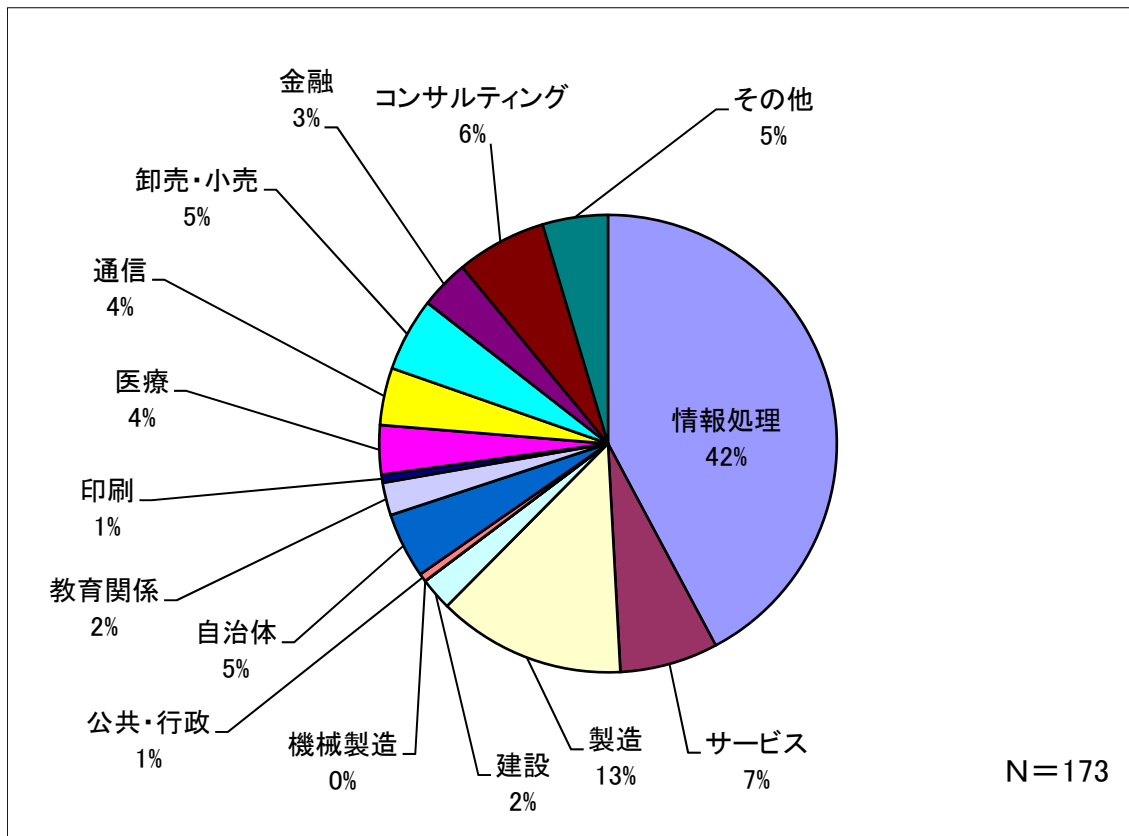
本説明会の参加者数 237 名のうちアンケート回答数は、3 回合計で 190 名（全体回答率：80%）であった。アンケート項目の集計結果を以下に示す。

また、今回は無回答を除いた集計としているため、設問により母数が異なっている。

質問 1 参加者について

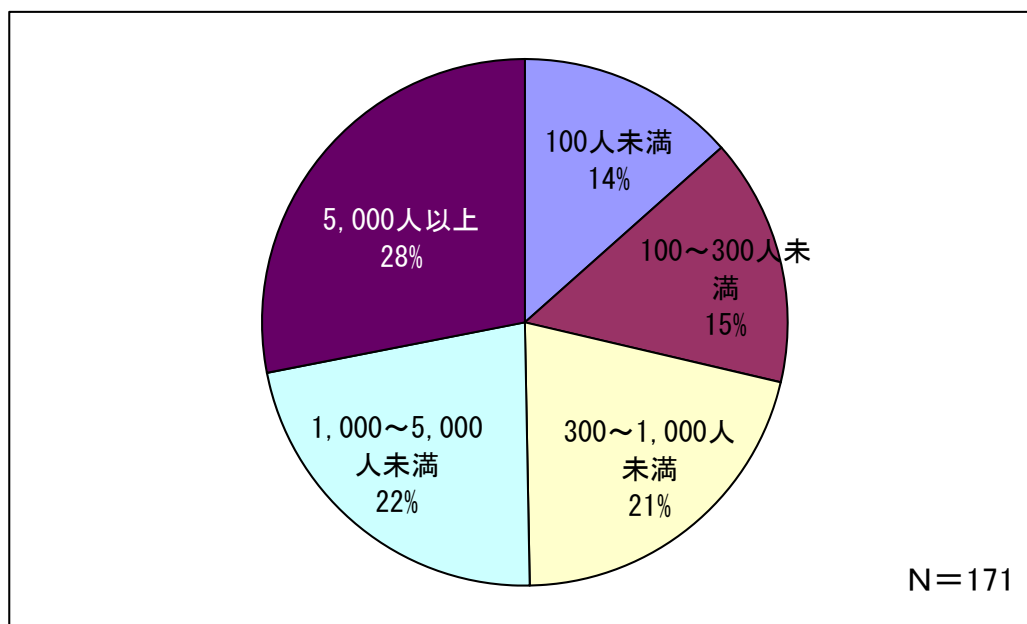
(1) 業種

最も多い参加業種は「情報処理（42%）」となっており、「製造（13%）」、「サービス（7%）」、「コンサルティング（6%）」も続いている。



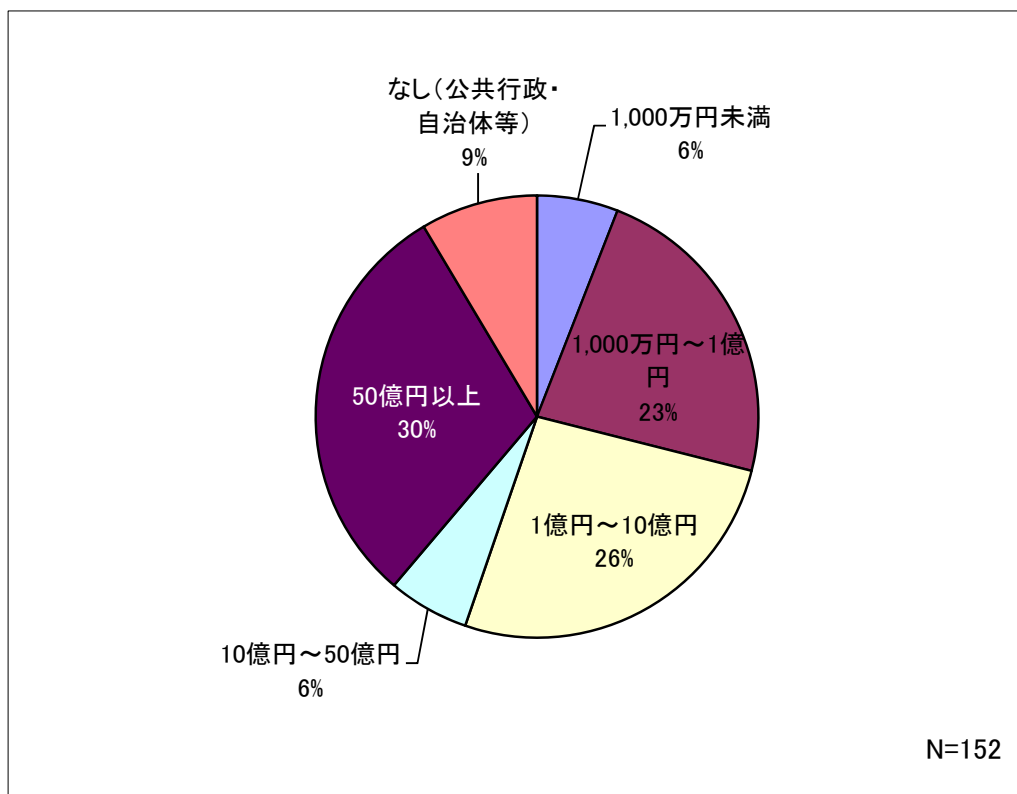
(2) 従業員数

全体的に見ると「5,000人以上」が1/4以上を占めている。また、「1,000人～5,000人未満（22%）」、「300～1,000人未満（21%）」と続いている。



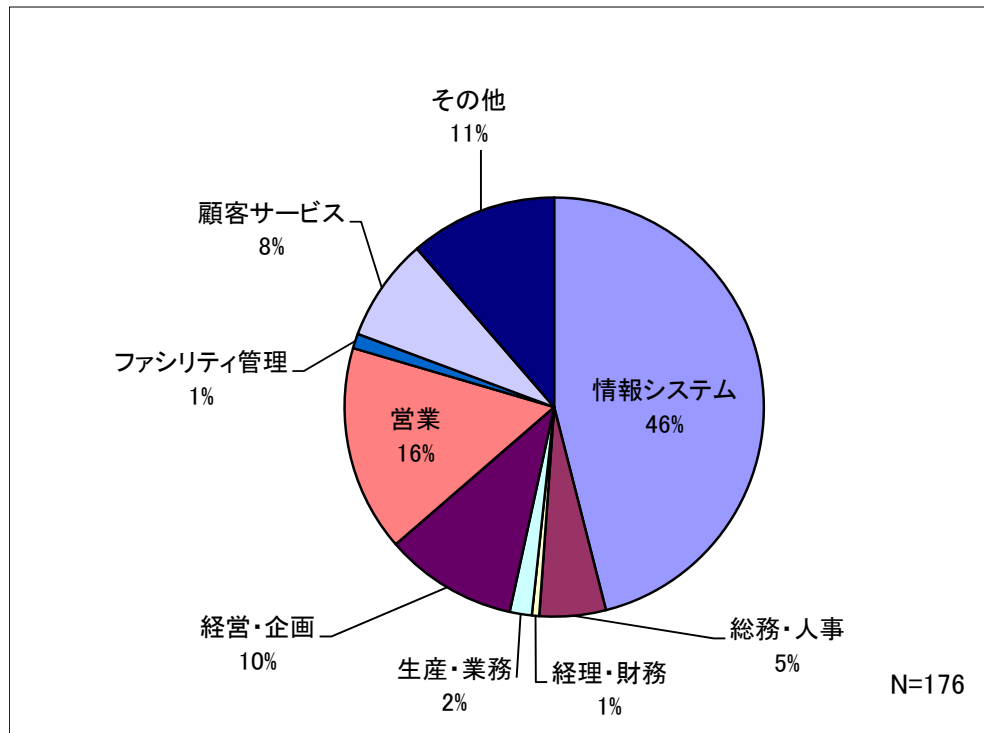
(3) 資本金

「50億円以上（30%）」の大企業が最も多く参加している。



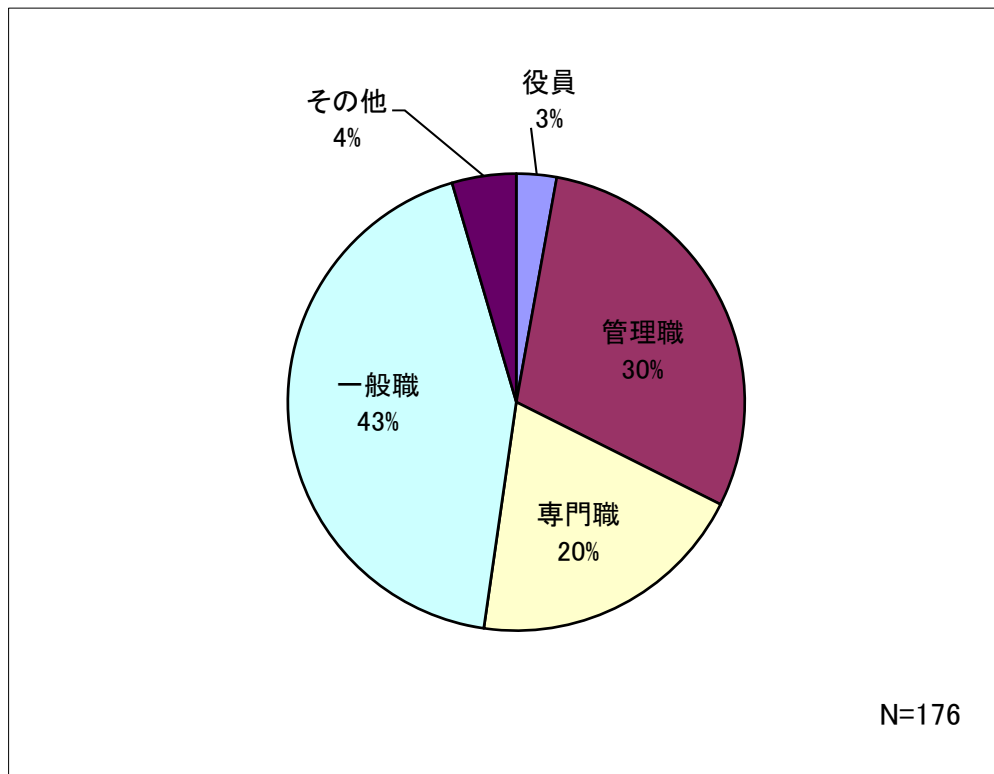
(4) 職種

最も多い参加職種は「情報システム（46%）」となっており、「営業（16%）」の参加も多いことが分かる。



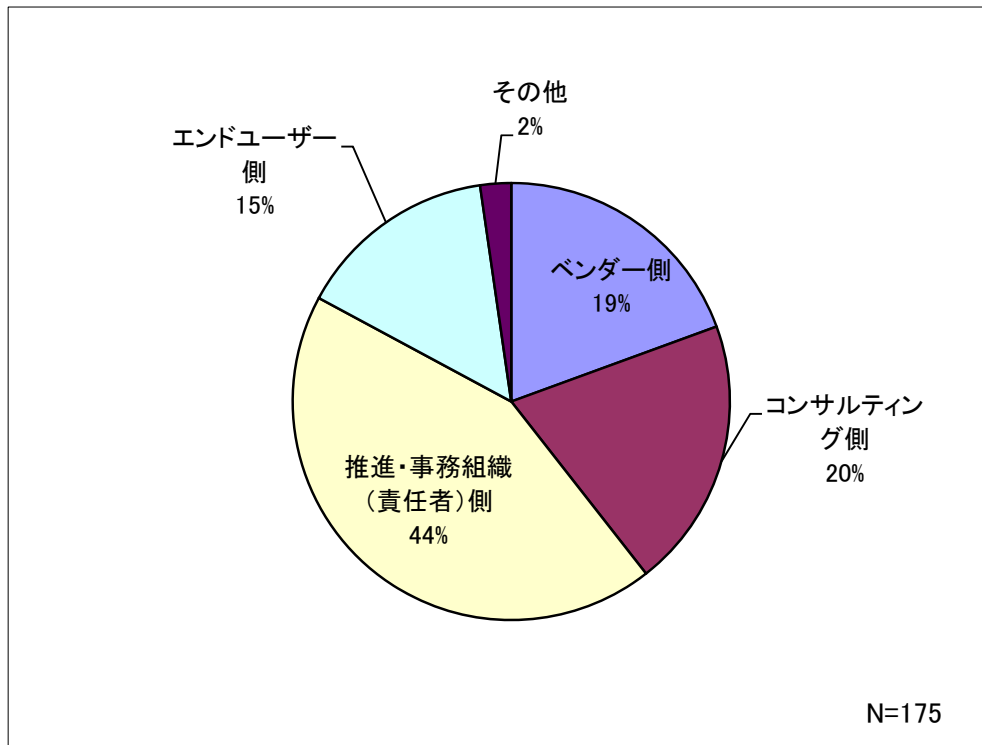
(5) 役職

全体を見ると、「一般職」が43%と最も多く参加している。



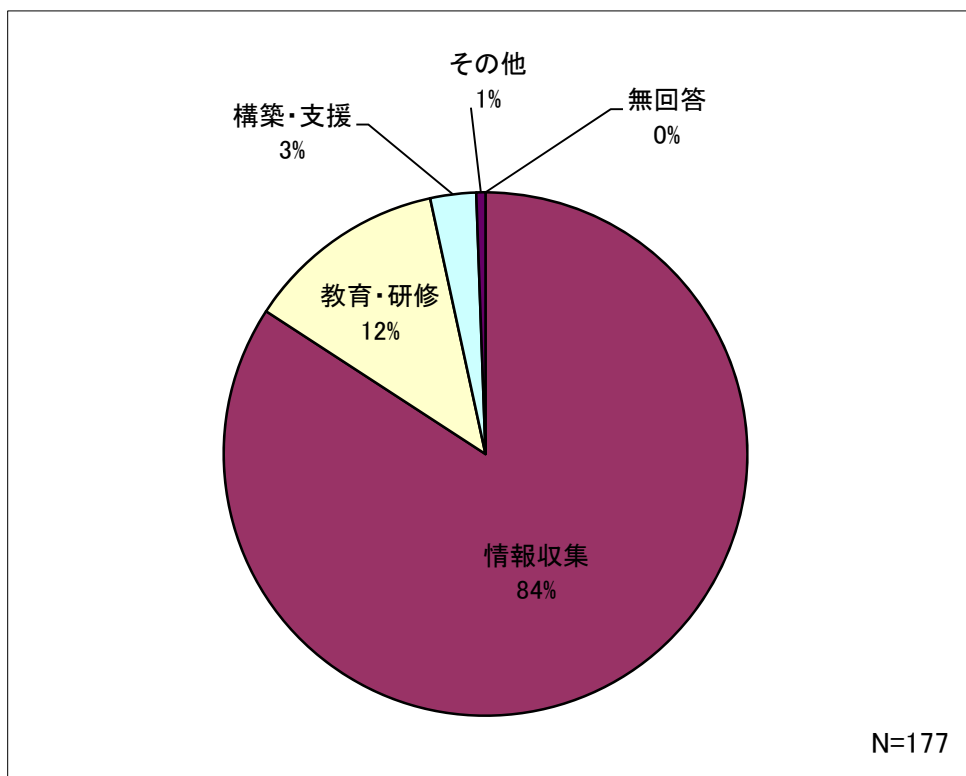
(6) SAM に対する立場

全体を見ると、「推進・事務組織（責任者）側（44%）」に集中している。



(7) 参加目的

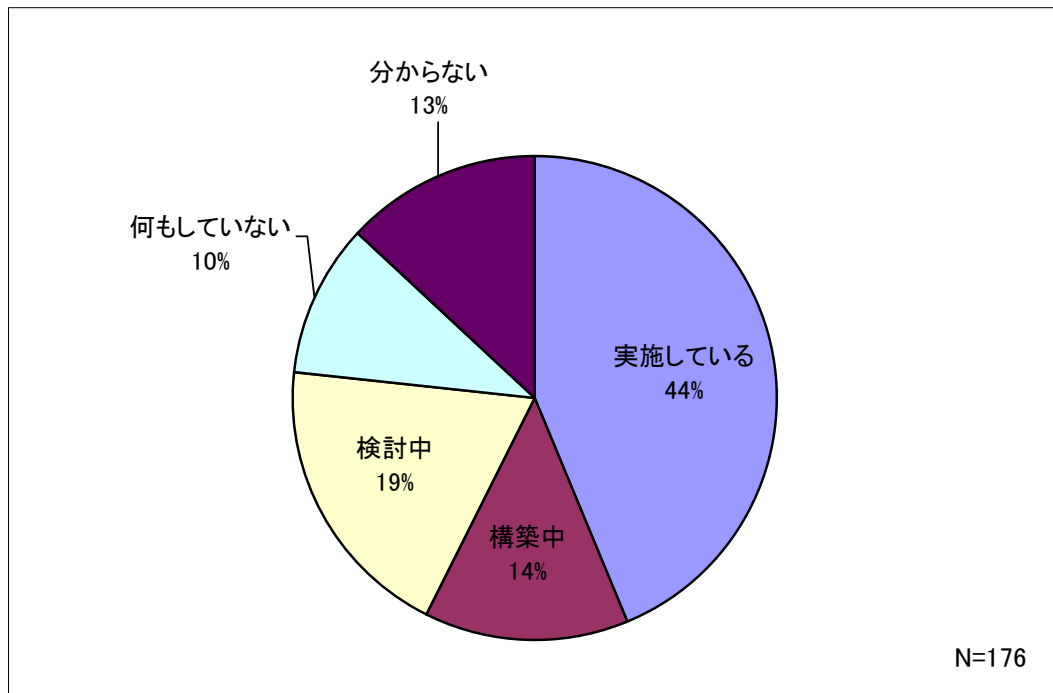
8割以上が、「情報収集」の目的で参加していることが分かる。



質問 2 ソフトウェア資産管理 (SAM) について

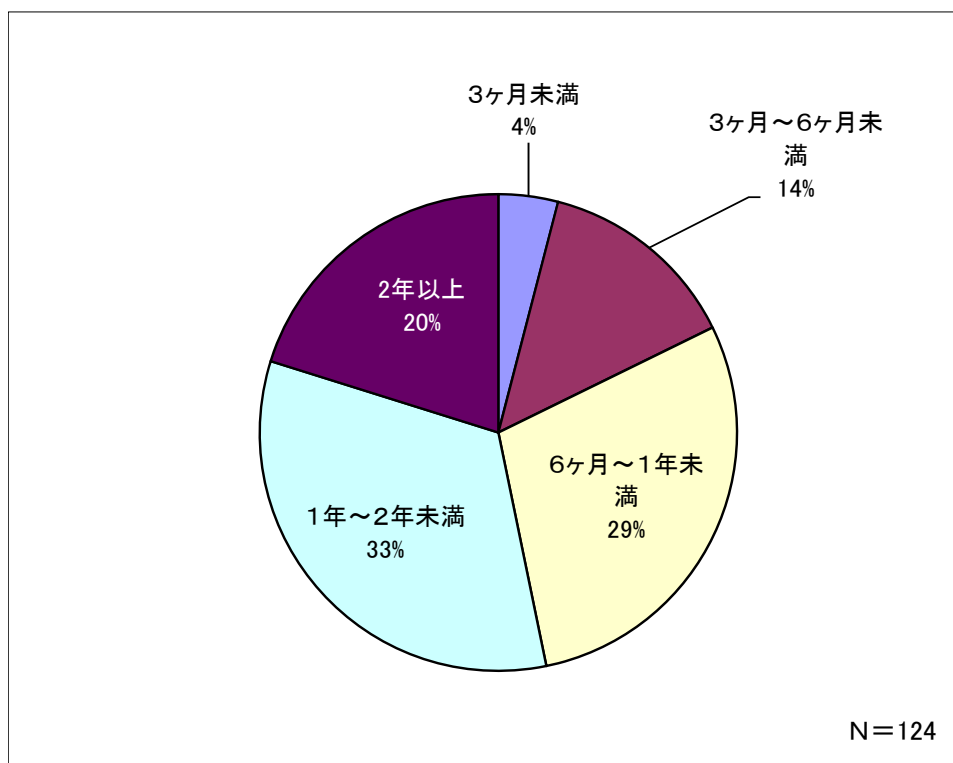
(1) SAM の実施状況

全体では、「実施している (44%)」が最も多くなっている。



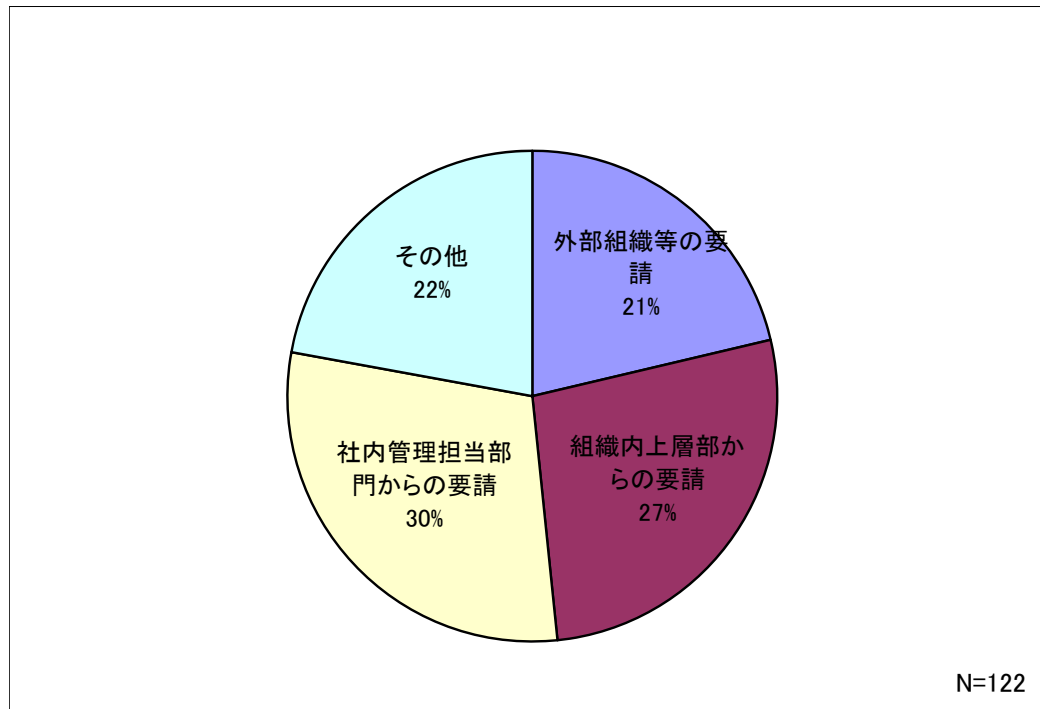
(2) 策定期間

最も多い策定期間は、「1年～2年未満 (33%)」となっている。



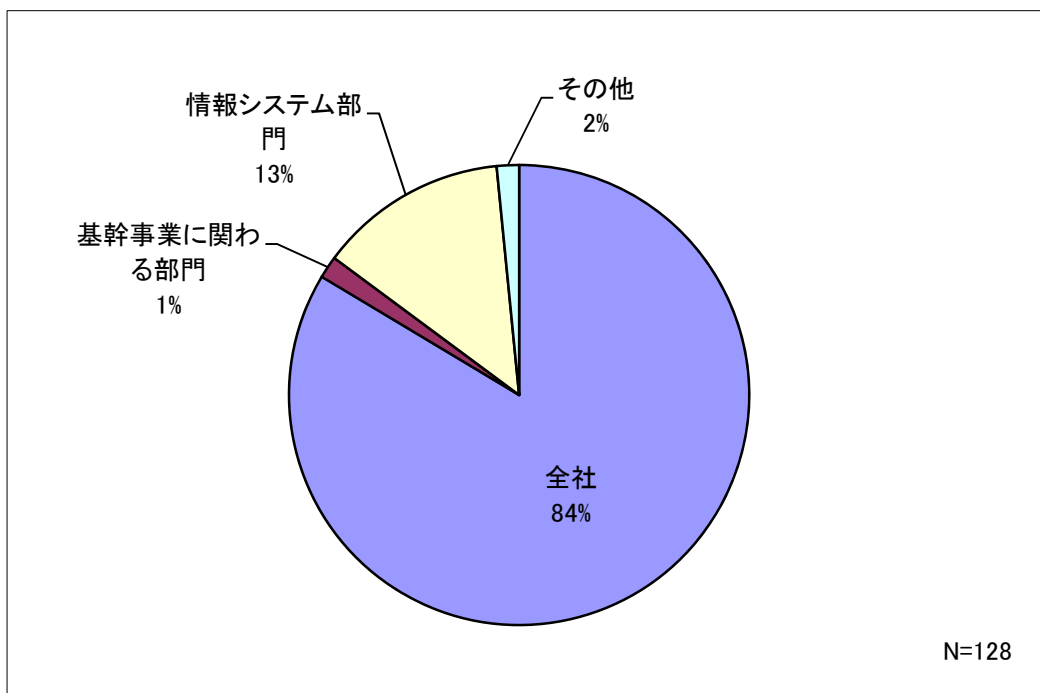
(3) SAM 導入のきっかけ

導入のきっかけについては、全体的には内部からの要請が半数以上となっている。



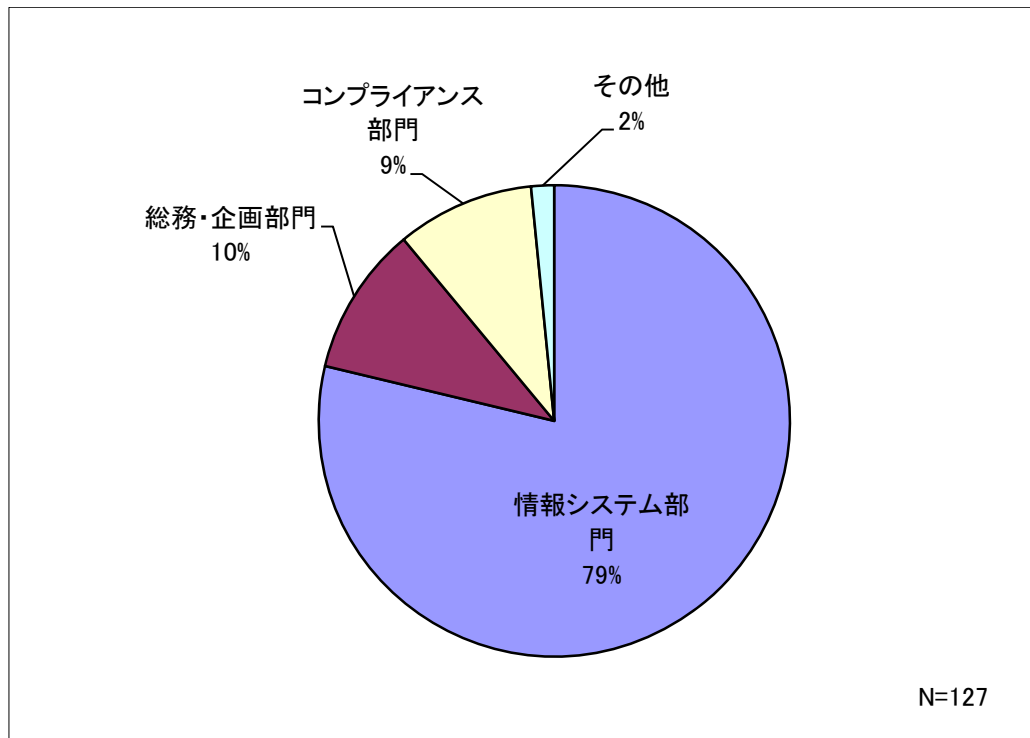
(4) SAM の対象組織（社内組織）

全国的に 8 割以上が「全社」を SAM の対象組織（社内組織）としていることが分かる。



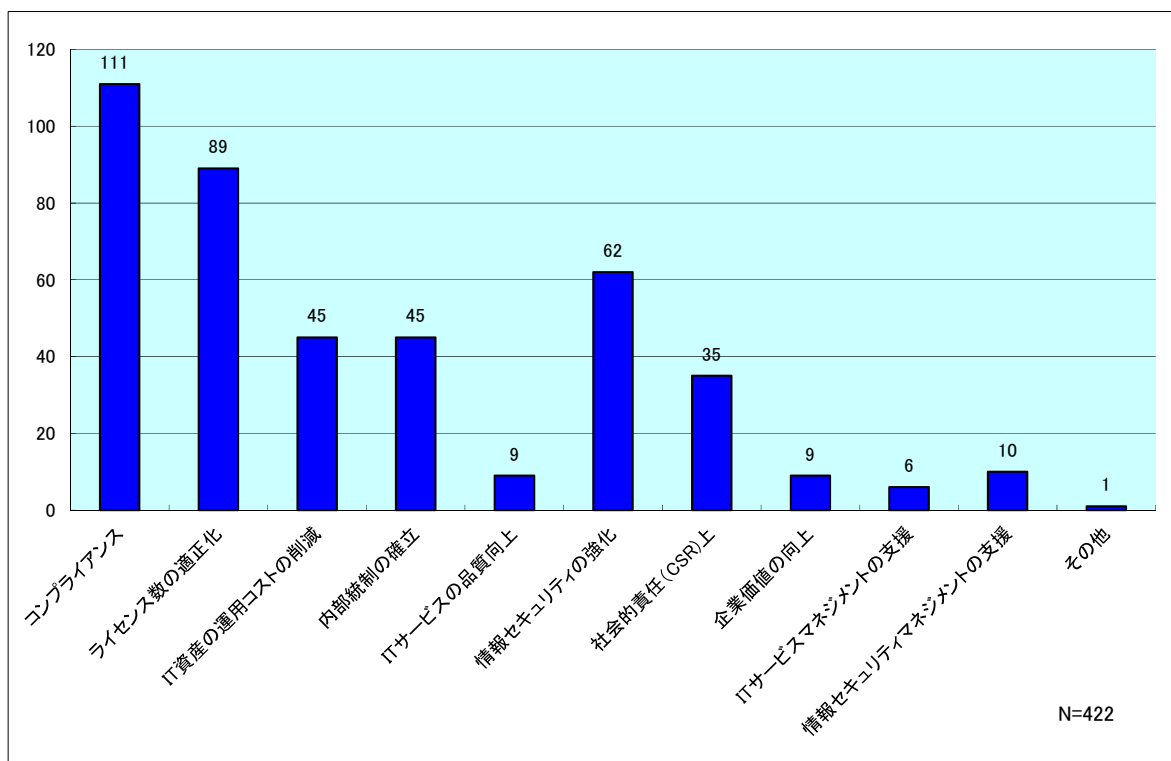
(5) SAM の推進組織（社内組織）

全国的に SAM の推進組織（社内組織）で最も多いのが「情報システム部門（79%）」である。



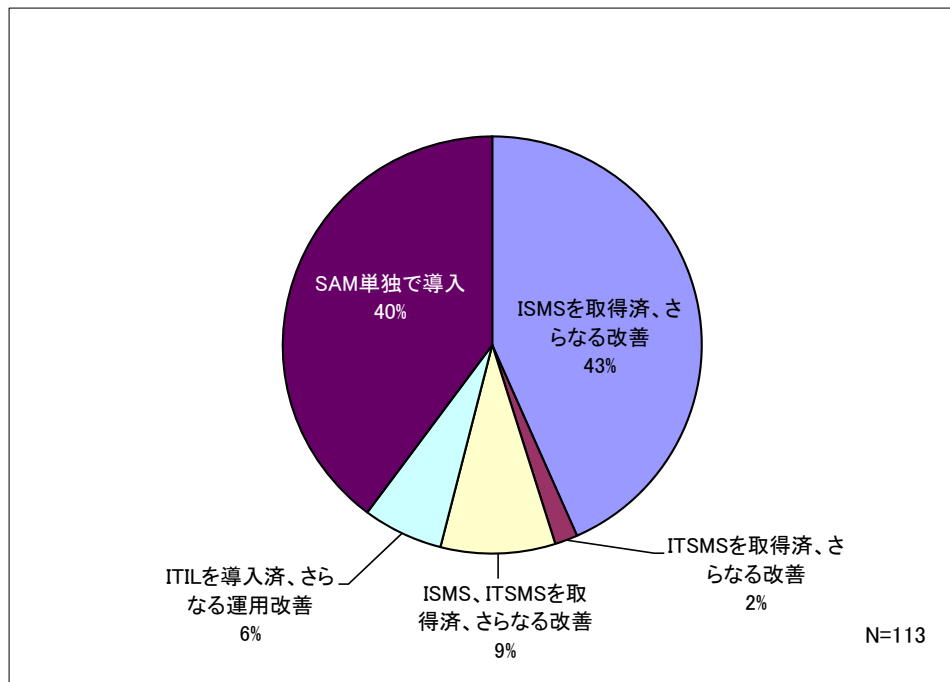
(6) SAM 導入の目的（複数回答可）

最も多いのが「コンプライアンス（26%）」、続いて「ライセンス数の適正化（21%）」となっている。



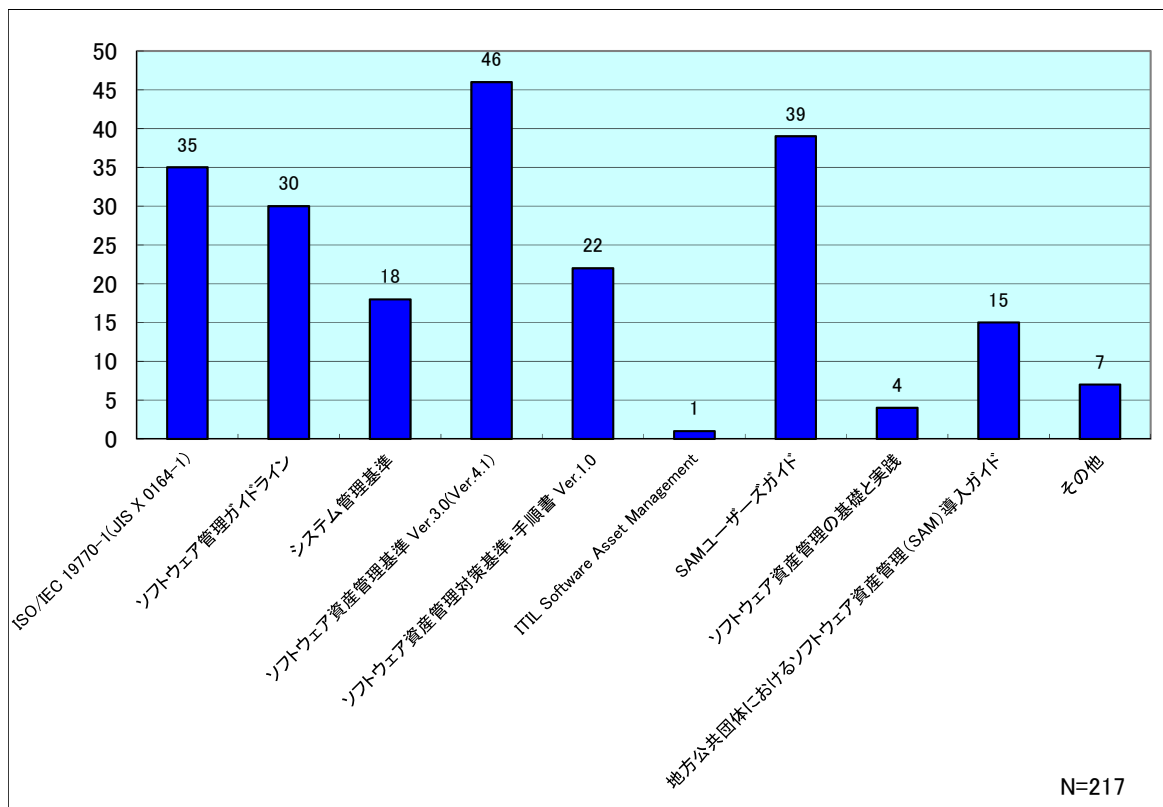
(7) SAM と ISMS、ITSMS、ITIL の関連

現状では、「ISMS 取得組織 (ITSMS 含む)」が「SAM を導入する (52%)」が最も多くなっているが、「SAM 単独で導入 (40%)」も続いている。



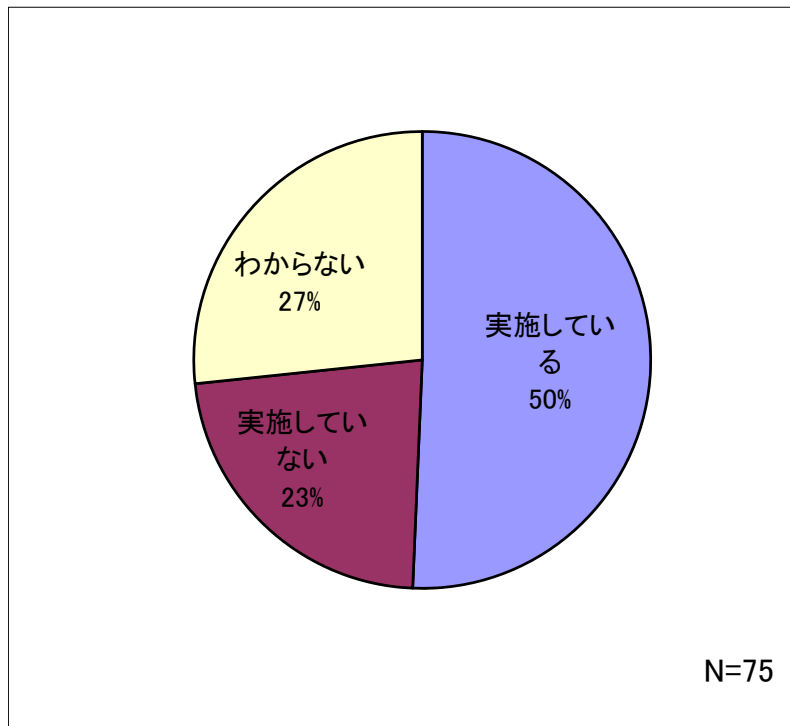
(8) SAM を導入するにあたり参考にしたガイドライン (複数回答可)

全体で最も多かったのが「ソフトウェア資産管理基準 Ver. 3.0 (Ver. 4.1) (21%)」を参考としている組織・企業であった。また、「SAM ユーザーズガイド (18%)」も続いている。



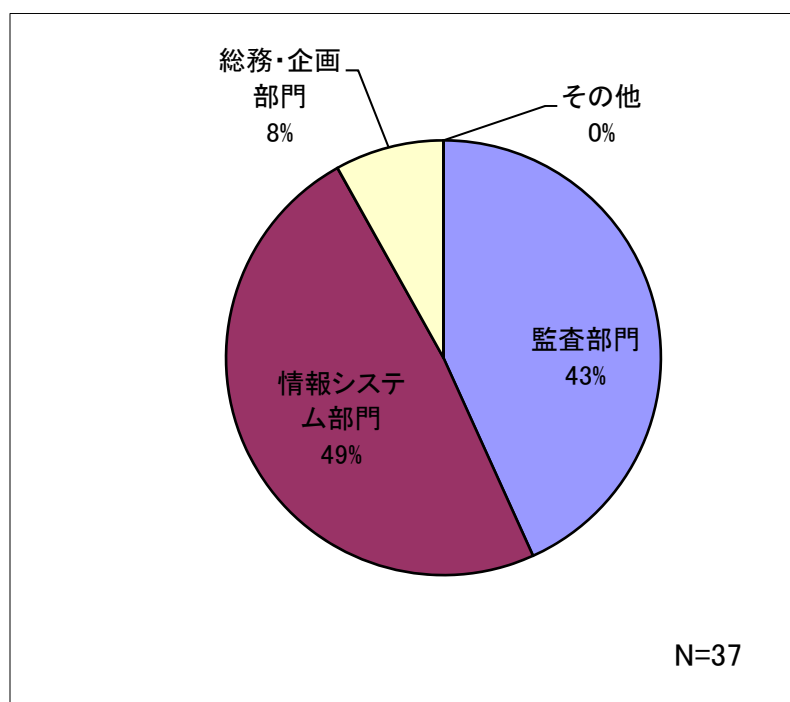
(9) SAM 内部監査の実施

SAM を「実施している」と回答した参加者のうち、5割が内部監査を「実施している」としている。



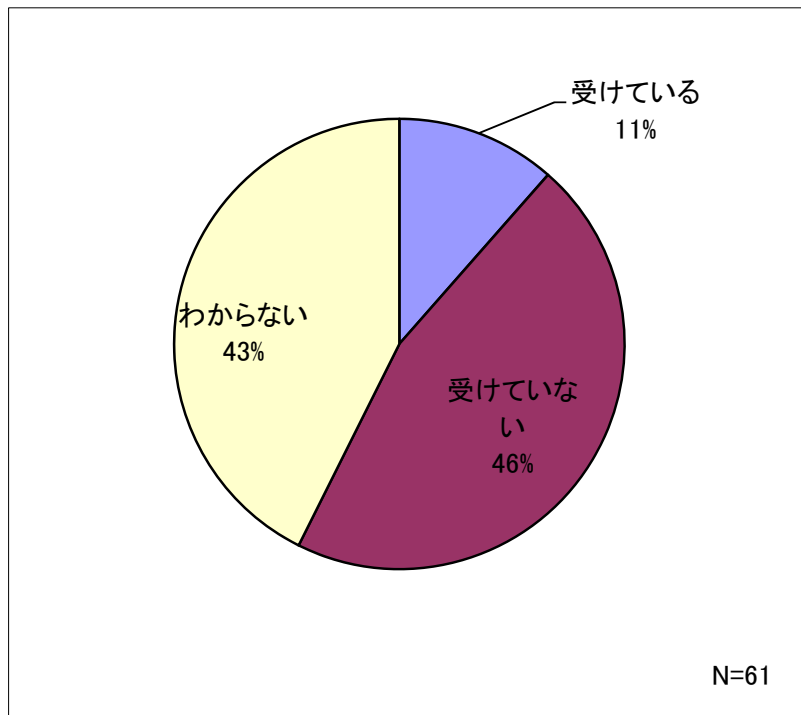
(10) 内部監査の実施部門

内部監査を「実施している」と回答した参加者のうち、ほとんど「情報システム部門 (49%)」と「監査部門 (43%)」で監査を実施していることが分かる。



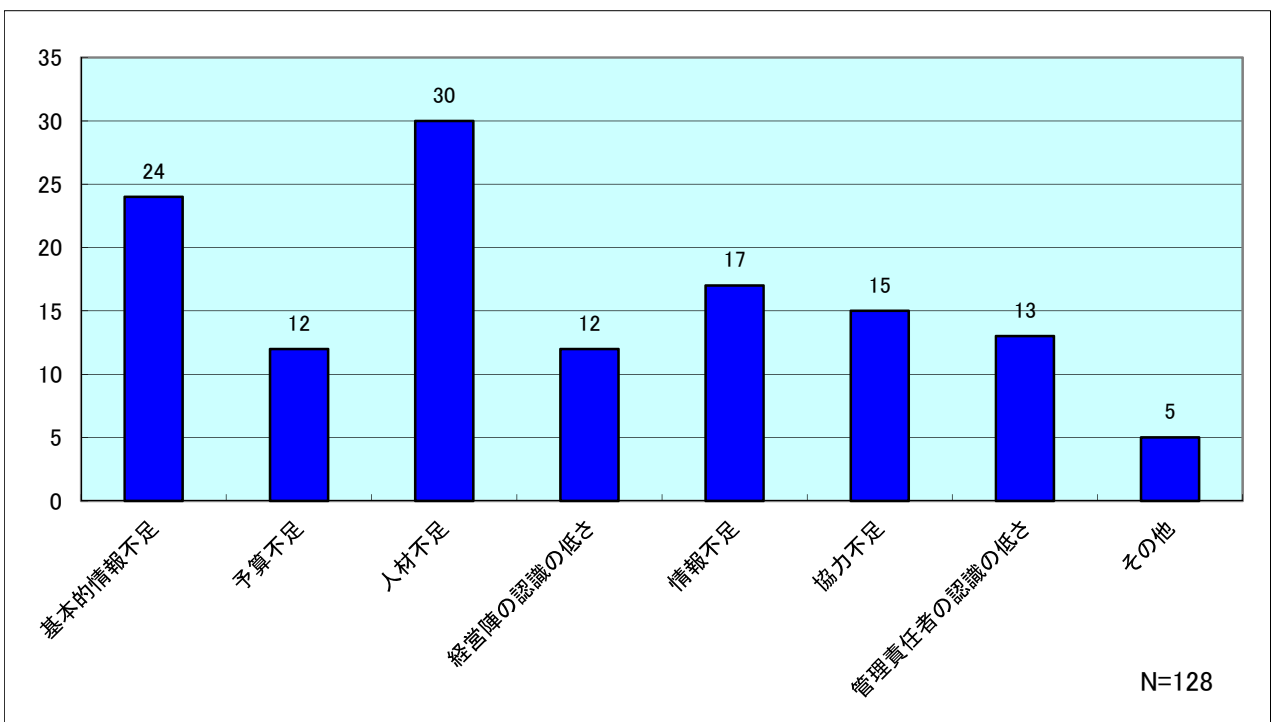
(11) SAM の外部監査の実施

SAM を「実施している」と回答した参加者のうち、「受けている」は11%と1割となっている。



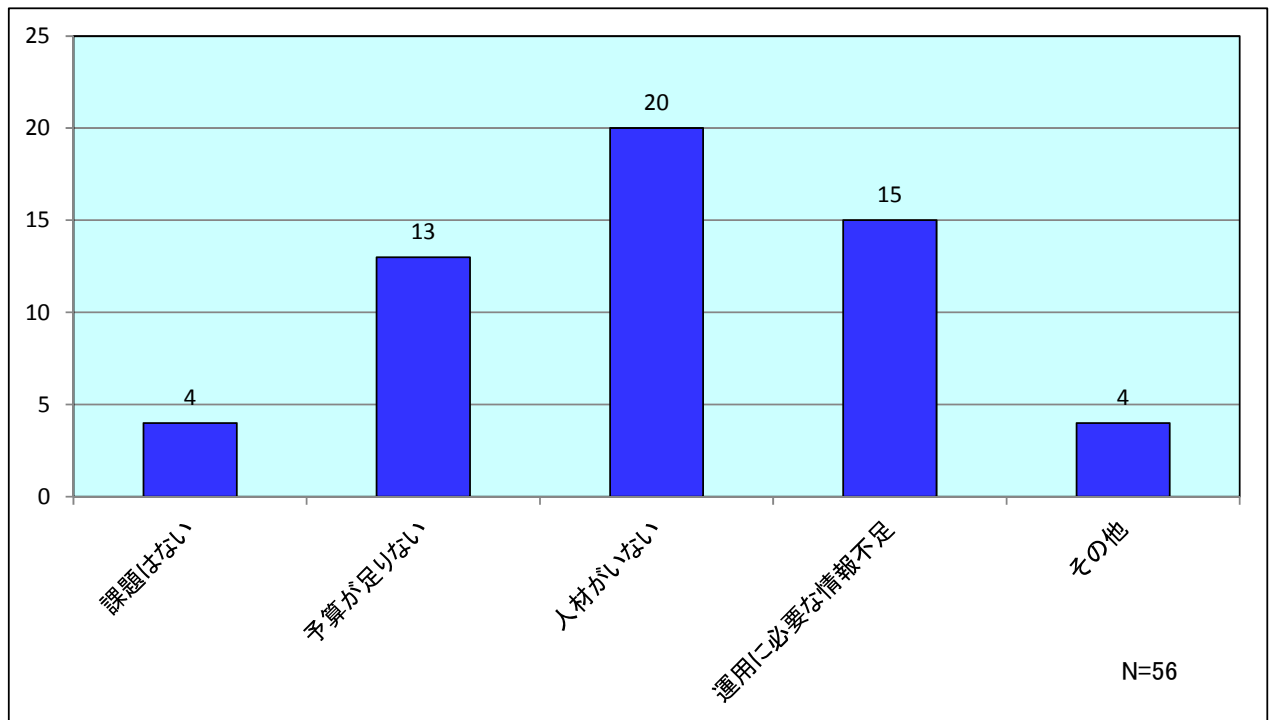
(12) SAM 導入にあたり障害となったもの(複数回答可)

導入にあたり障害となったものは、ほとんどの会場で「人材不足(25%)」をあげている。



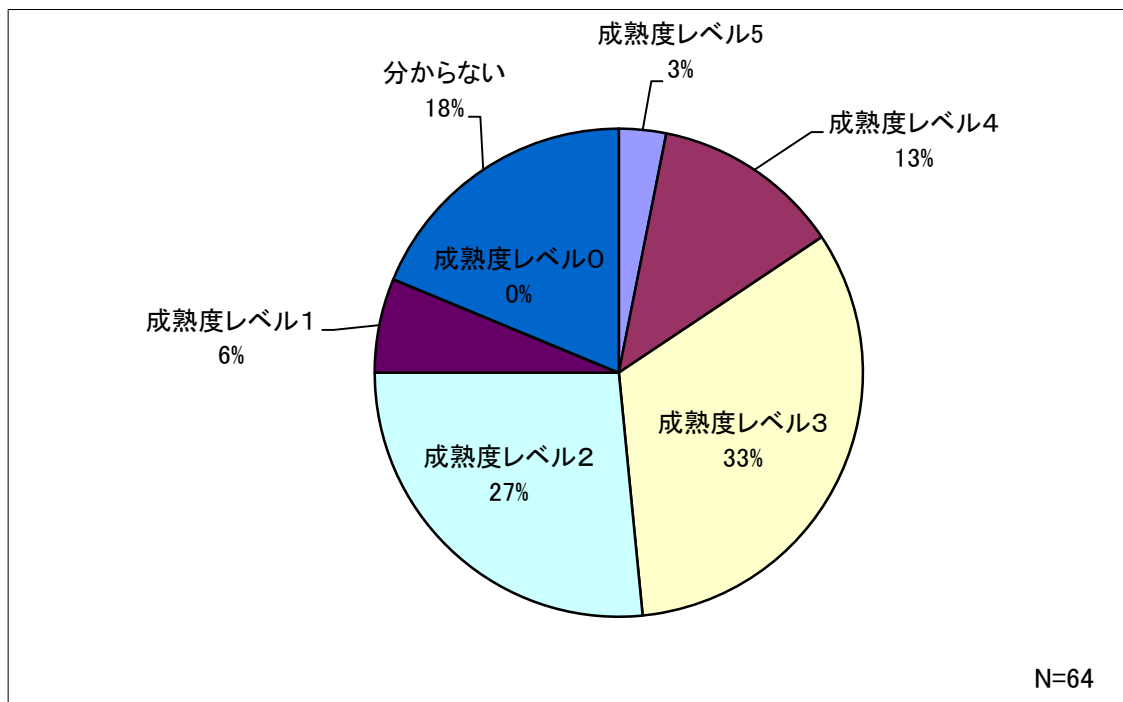
(13) SAM 実施後の課題 (複数回答可)

実施後の課題に関しても、引き続き「人材がない (36%)」、「運用に必要な情報不足 (27%)」、「予算が足りない (23%)」をあげており、SAM を実施していく上で改善されていないようである。



(14) SAM の成熟度について

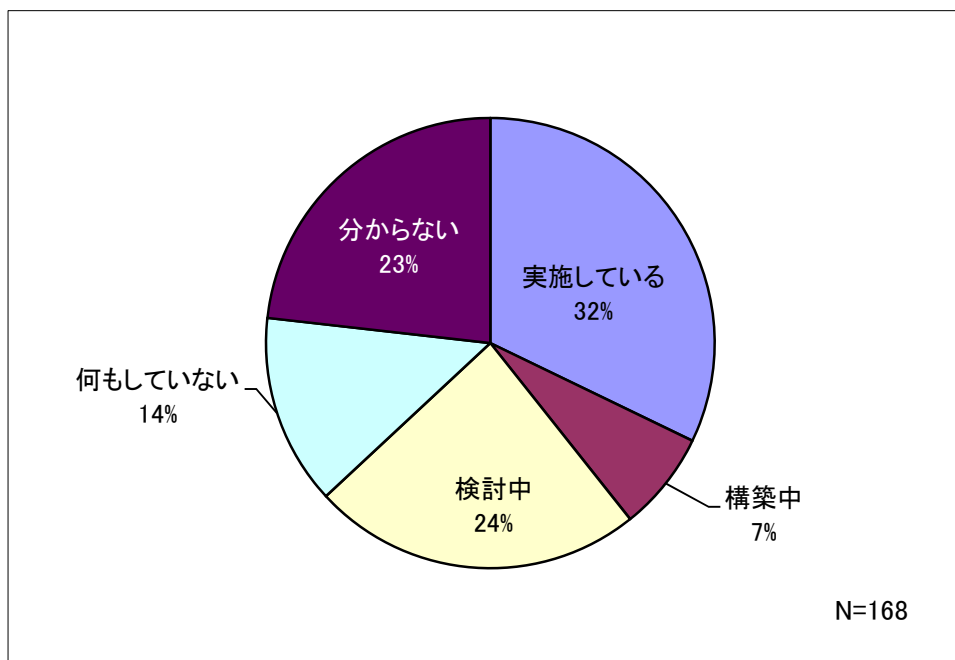
成熟度レベルについては、「成熟度 2」と「成熟度 3 で」6 割となっている。



質問 3 IT 資産管理 (ITAM) について

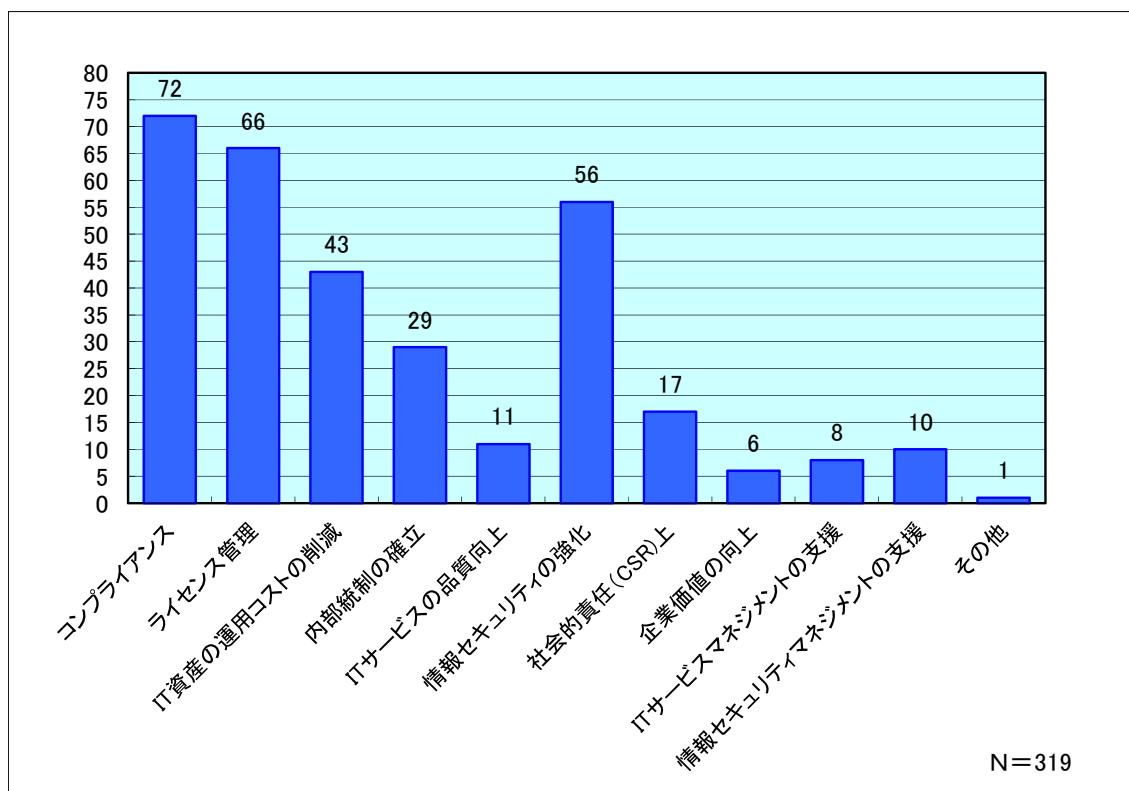
(1) ITAM の実施状況

ITAM の実施状況については、「実施している」、「構築中」を合わせて 4 割弱となっている。



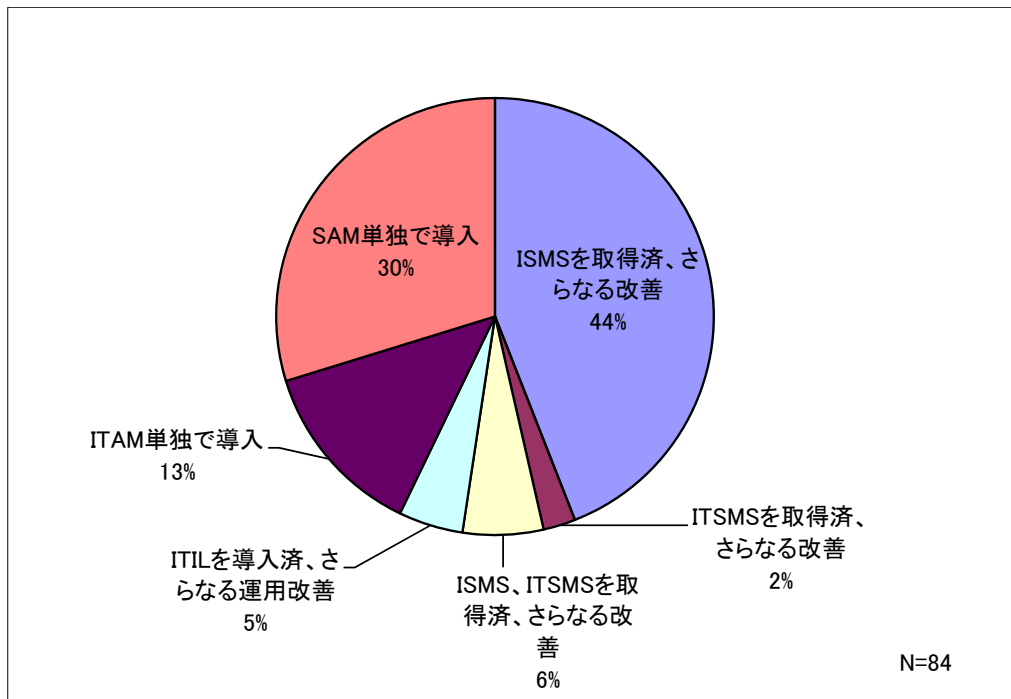
(2) ITAM 導入の目的 (複数回答可)

SAM 同様、導入の目的は「コンプライアンス (23%)」、「ライセンス管理 (21%)」が多くなっている。



(3) ITAM と SAM、ISMS、ITSMS、ITIL の関連

現状では、「ISMS 取得組織 (ITSMS 含む)」が「SAM を導入する (50%)」が最も多くっているが、「ITAM 単独で導入 (30%)」も続いている。



(4) ITAM を導入・運用する際の課題

2014/10/30 札幌会場－0件

2015/2/19 大阪会場－3件

- ・タブレット、BYOD の取り扱い
- ・変化への対応
- ・必要性の説明。費用対効果。

2015/2/27 東京会場－10件

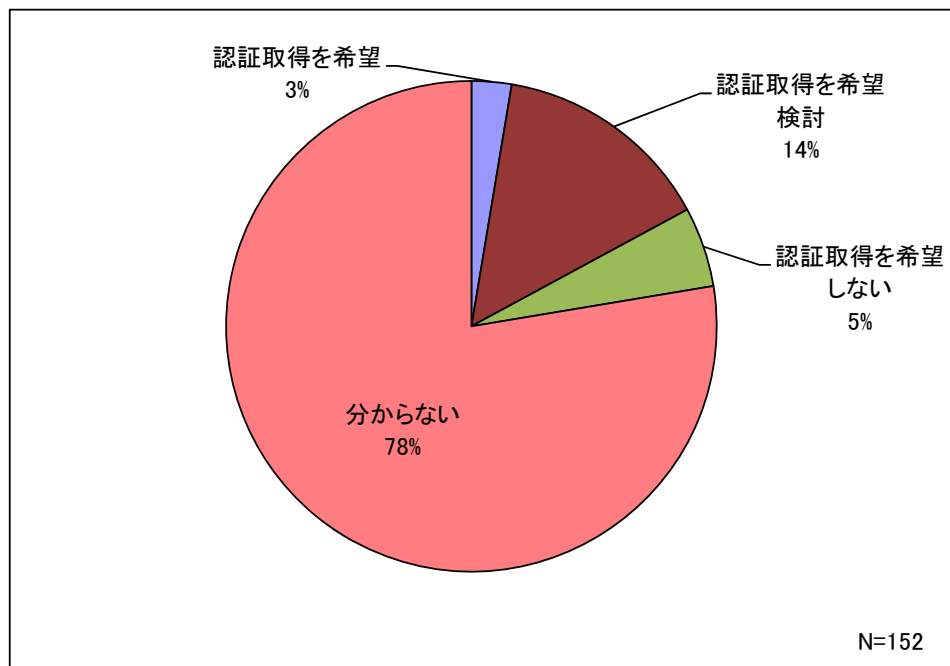
- ・ ITAM の仕組み（システム等）を導入したが、仕組みだけが先行してしまい、エンドユーザー（社員）まで運用が追い付いていない場面が見受けられる。
- ・ ハードウェアの資産管理の管理精度が一定レベル以上確保できない。
- ・ 既存資産の把握方法。費用管理（計画）との連動
- ・ ①情報システム部門の人材不足②経営側の理解不足（監査対策の面でしかとらえていない）。
- ・ ITAM の基準となる規程等のひな型がない。
- ・ 経営における IT の位置づけの明確化

- ・ 利用者情報の正確な反映が難しい。
- ・ 社内の説得
- ・ 現場の反抗。あるべき像が策定できない。
- ・ 特になし。

質問 4 IT 資産管理 (ITAM) の認証制度について

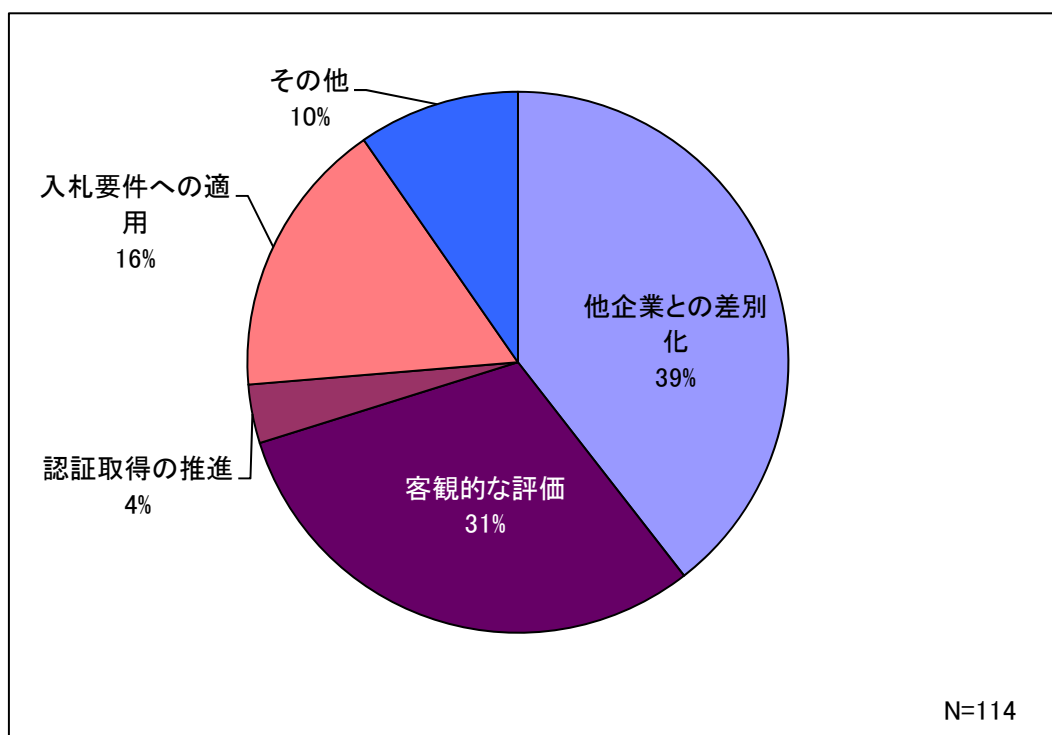
(1) IT 資産マネジメントシステム (ITAMS) の認証制度

まだ、8 割近くが「分からない」としている。



(2) 認証制度の活用方法

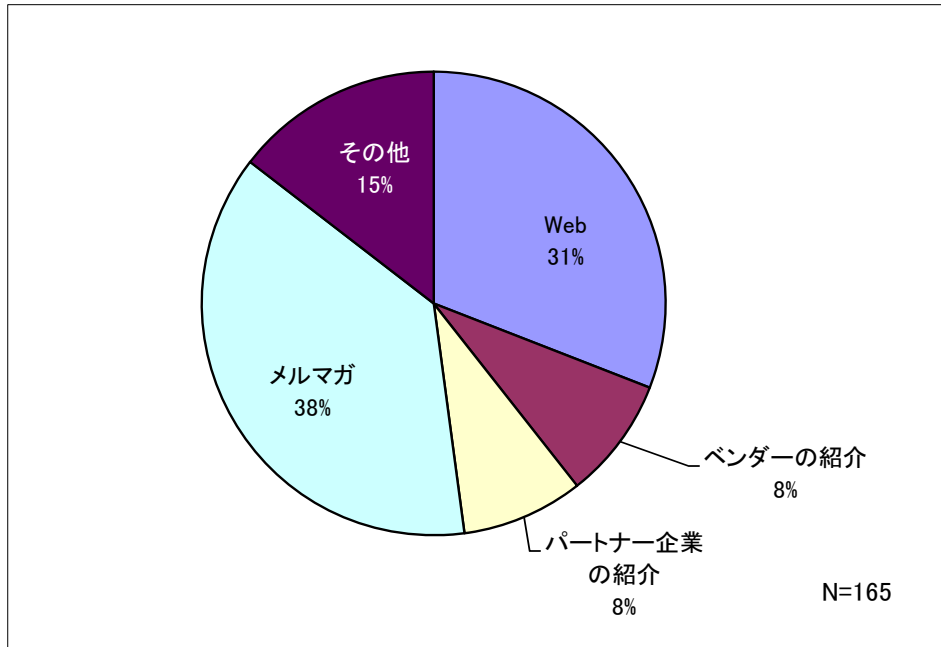
認証制度の活用方法では、「他企業との差別化 (39%)」、「客観的な評価 (31%)」となっている。



質問 5 その他

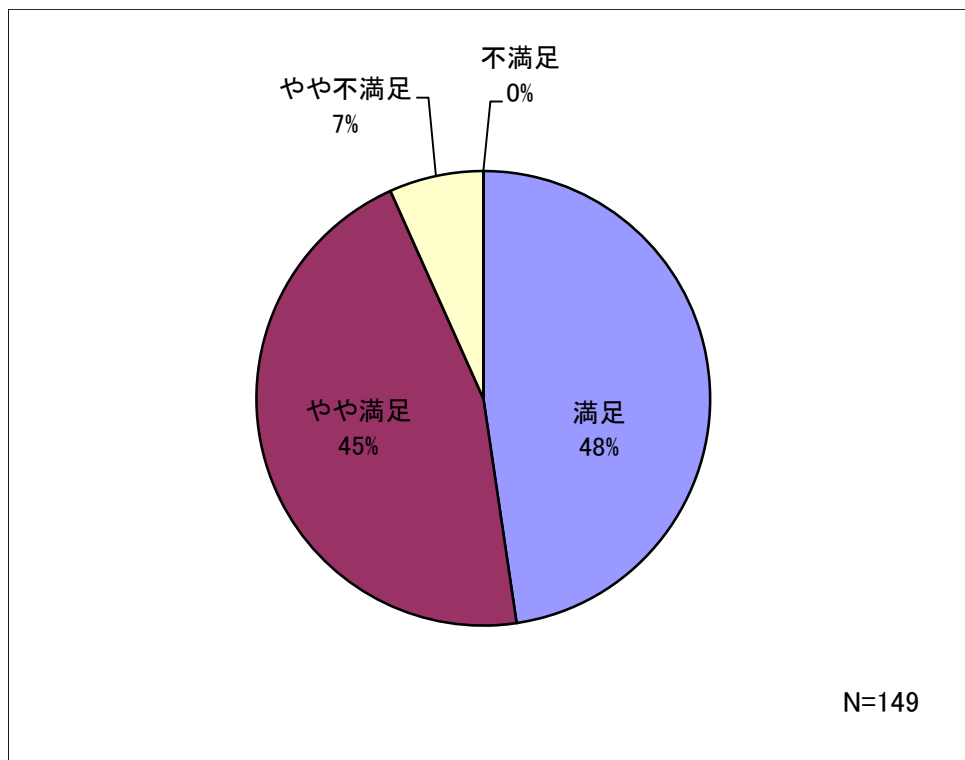
(1) 説明会を知った媒体

ほとんどの参加者が、「メルマガ（38%）」及び「Web（31%）」で説明会を知ったということが分かる。

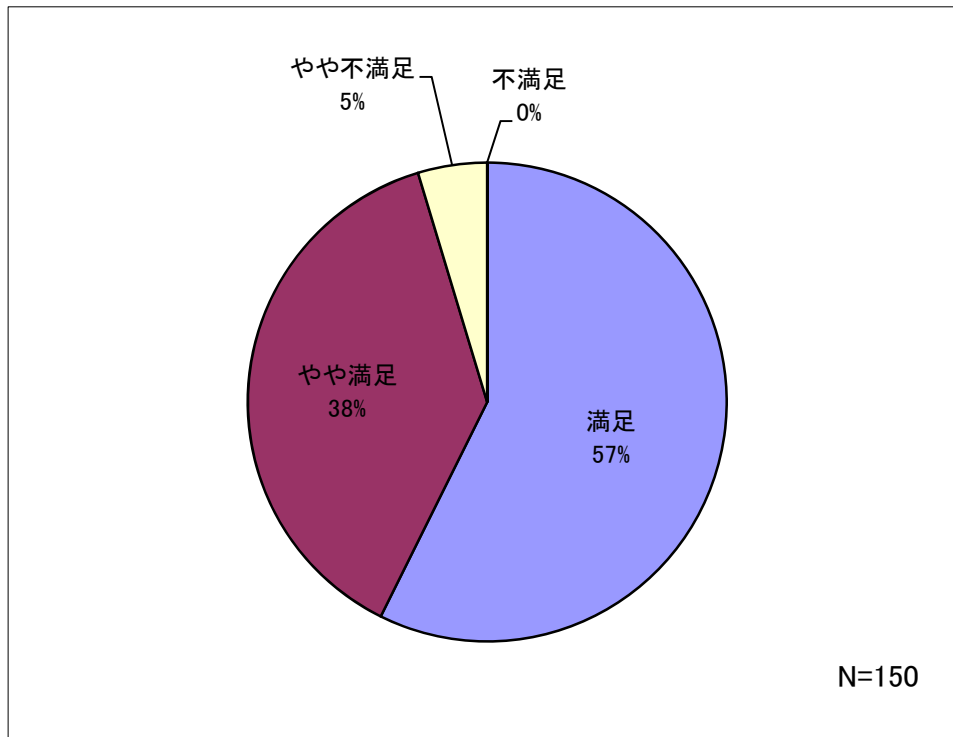


(2) IT 資産管理（ITAM）に関する説明会の評価

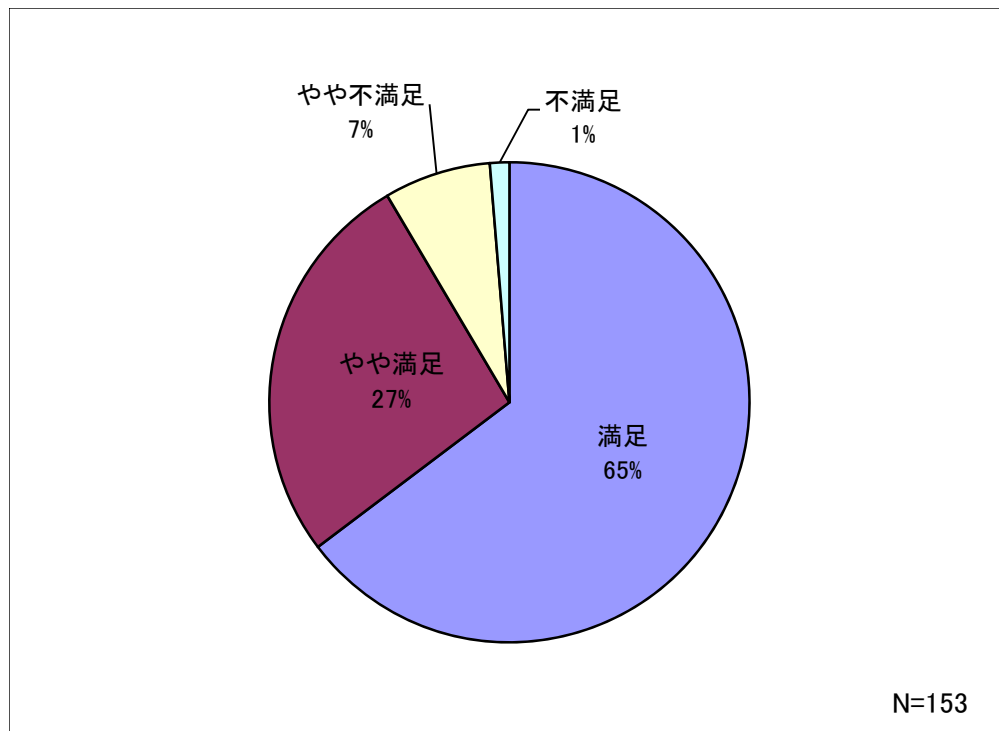
① 内容



②時間

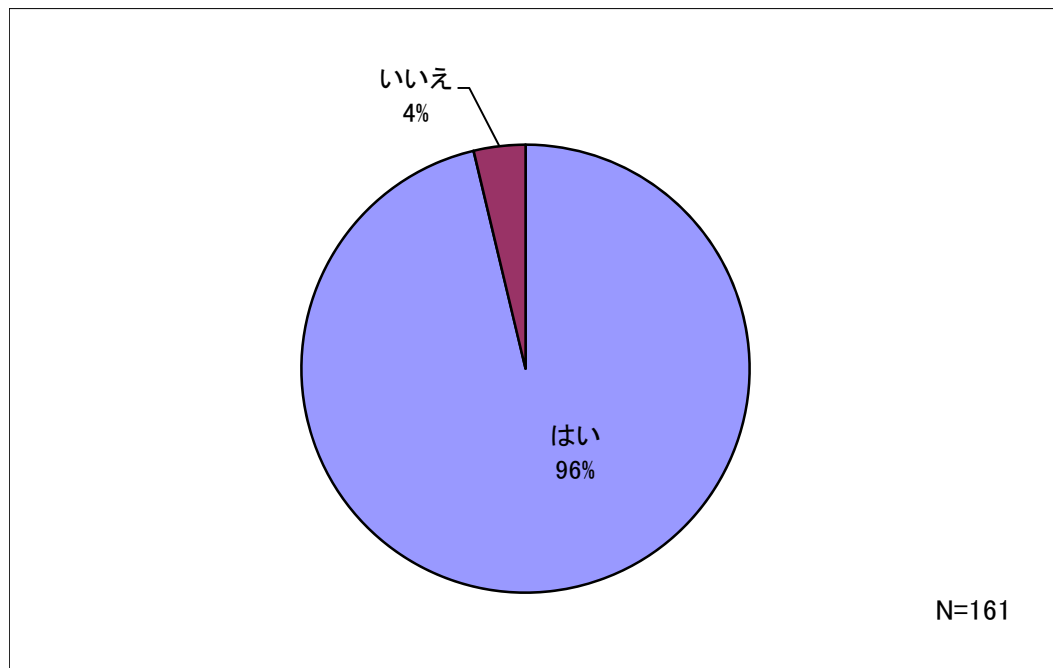


③会場



(3) 今後の開催希望

参加者のほとんどが、説明会の今後の開催について希望している。



(4) 今後取り上げて欲しいテーマ、講演に関するご感想、ご要望等

2014/10/30 札幌会場－9件

- ・ ターミナル管理から ID 管理に移行しつつある中、速やかな基準等の整理
- ・ SAM/ITAM 内部監査技法についての講演を希望します。
- ・ 実施事例
- ・ 講演 4 のお話が興味深かった。
- ・ クラウドに関するマネジメントシステムを取り上げて頂きたいです。
- ・ クラウド、シンクラのライセンスの考え方。
- ・ ITAM の導入・運用の具体的な事例。
- ・ SAM の構築で苦しい部分、市場に於ける認知はどの程度か？又、認知が上がった理由は何か？海外の SAM についての取組と比較して、日本は現状どうか？又、どのようにすべきか？という提言。
- ・ ITAMS の状況について、取り上げて欲しい。いつごろから開始なのかといったロードマップ情報も欲しい。

2015/2/19 大阪会場－7件

- ・ 具体的なソフトウェアの紹介など。
- ・ 講演＋導入事例やグループミーティング等、ユーザー参加型も増やしてはどうか。内容に関して

は満足です。

- ・ソフトウェアの申請情報とイベント情報との突合せがしやすい仔細や差異ある場合の解説の仔細についてのお話。
- ・IOTを含めたライセンス管理、クラウド化でのライセンス管理
- ・最近話題となったPOS マルウェア対策について。最近のウイルスセキュリティについて。
- ・特にありません。
- ・サーバのライセンスについて。クラウドサービス型のライセンスについて。SA 型のライセンスについて。

2015/2/27 東京会場－11件

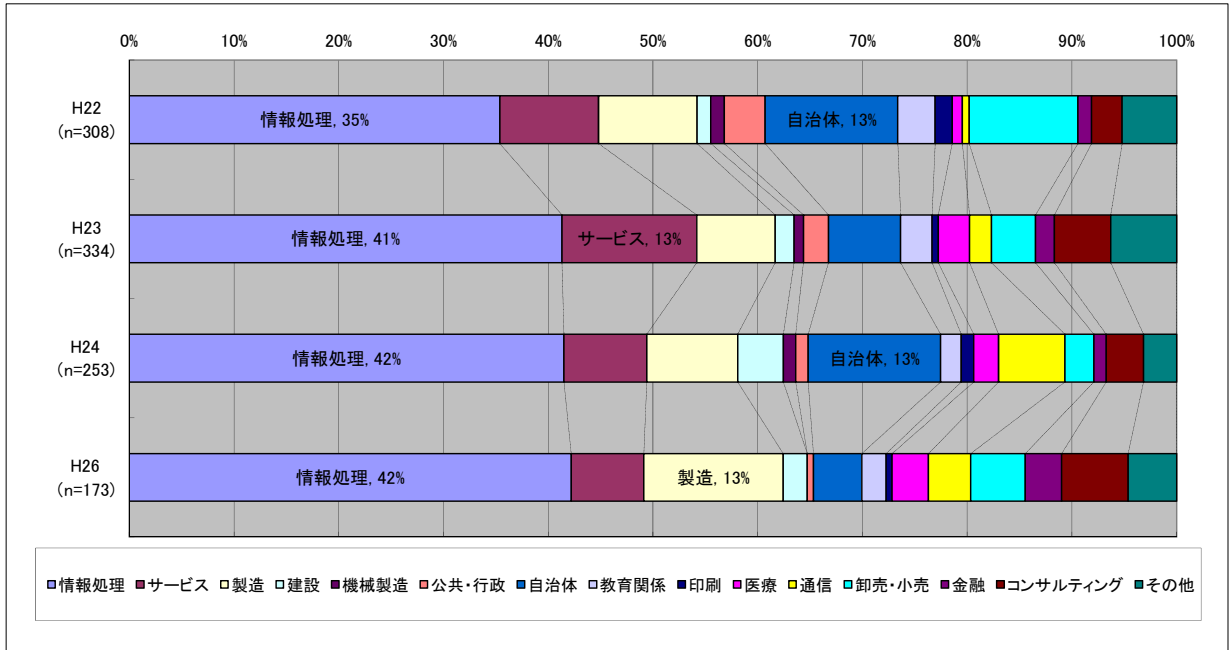
- ・ ITAM、SAM 実現に向けての実務上の課題、解決法など紹介して欲しい。(調査/分析して)
- ・ ITAM の標準に則って、IT 資産管理を請け負ってくれるアウトソーサーの紹介や、上手なアウトソーサーの選び方の紹介。
- ・ 講演 2 の資料を公開してほしい。実際の監査内容 (Microsoft、Adobe 等)
- ・ 今回初めての参加でしたが、現状の管理と照らし合わせ、考えさせる点が多々ありました。この問題意識を上層部と共有したいと考えています。本日はありがとうございました。
- ・ ITAM の実施企業 (現場) の事例など、導入から適正管理まで生の声 (苦労や成果) なども聞きたい。
- ・ 大変興味深く、良かった。管理を担当しているが、他社がどういうことがしているかわかり良かった。自社でも確認していきたい。
- ・ うまく運用するためのツールの紹介、仕組みを知りたい。
- ・ 完璧な SAM (ITAM) 実現のために、必ずすべきこと、具体的な方略を明示して欲しい。
- ・ SAM の推進には定性的なものだけではなく定量的に説明が求められるので、定量化する何かを示して欲しい。
- ・ ITAM 導入企業の運用事例のご紹介、利用企業の情報共有会 (苦労話の共有)、問題解決策の協議の場の提供など。
- ・ 特になし。

3. アンケート集計（H22～H26 経年調査（ただし、H25年は含まず））

質問 1 参加者について

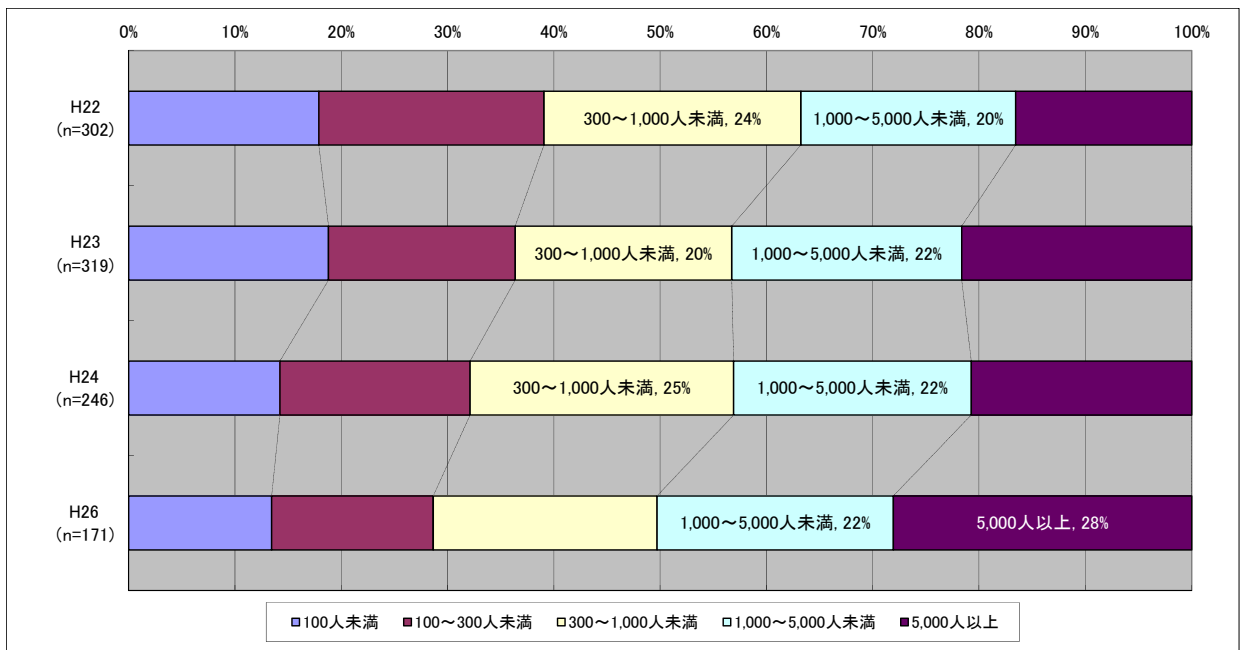
(1) 業種

業種の経年変化を見ると、「情報処理」は毎年4割を占めている。また、H26は「製造業」が増えてきている。



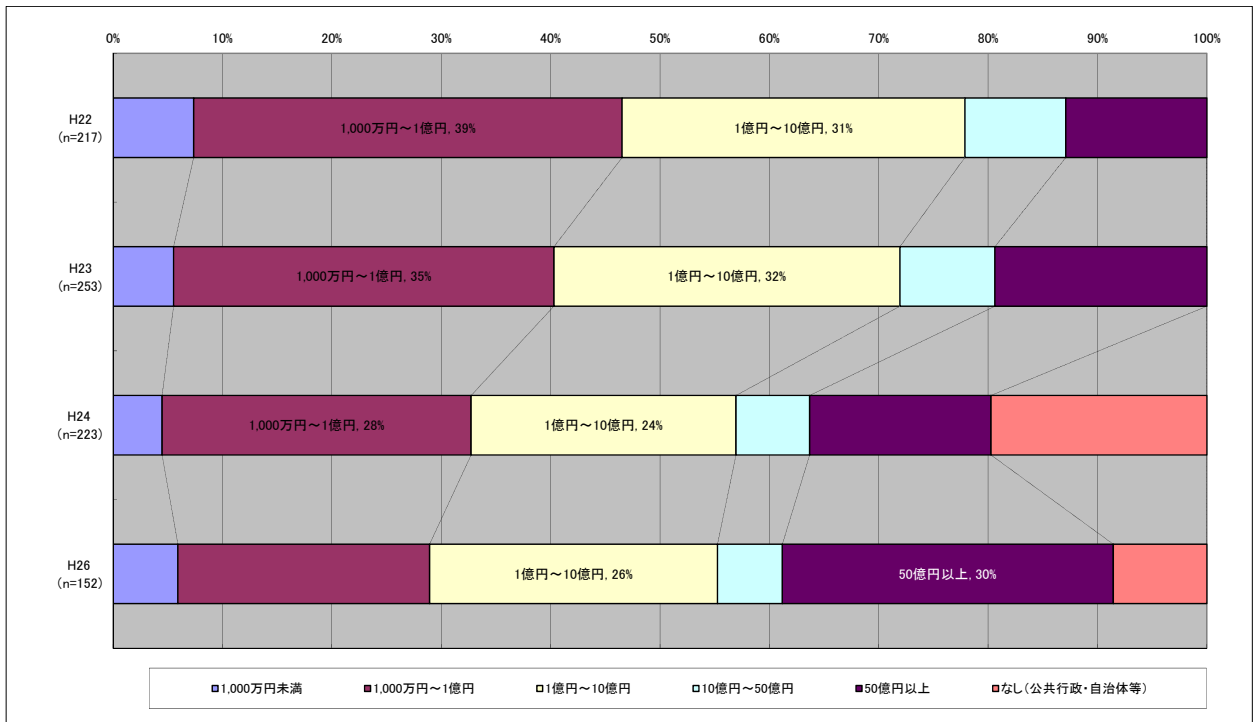
(2) 従業員

従業員規模の経年変化を見ると、「5,000人以上」の大規模企業の参加が増えている。



(3) 資本金

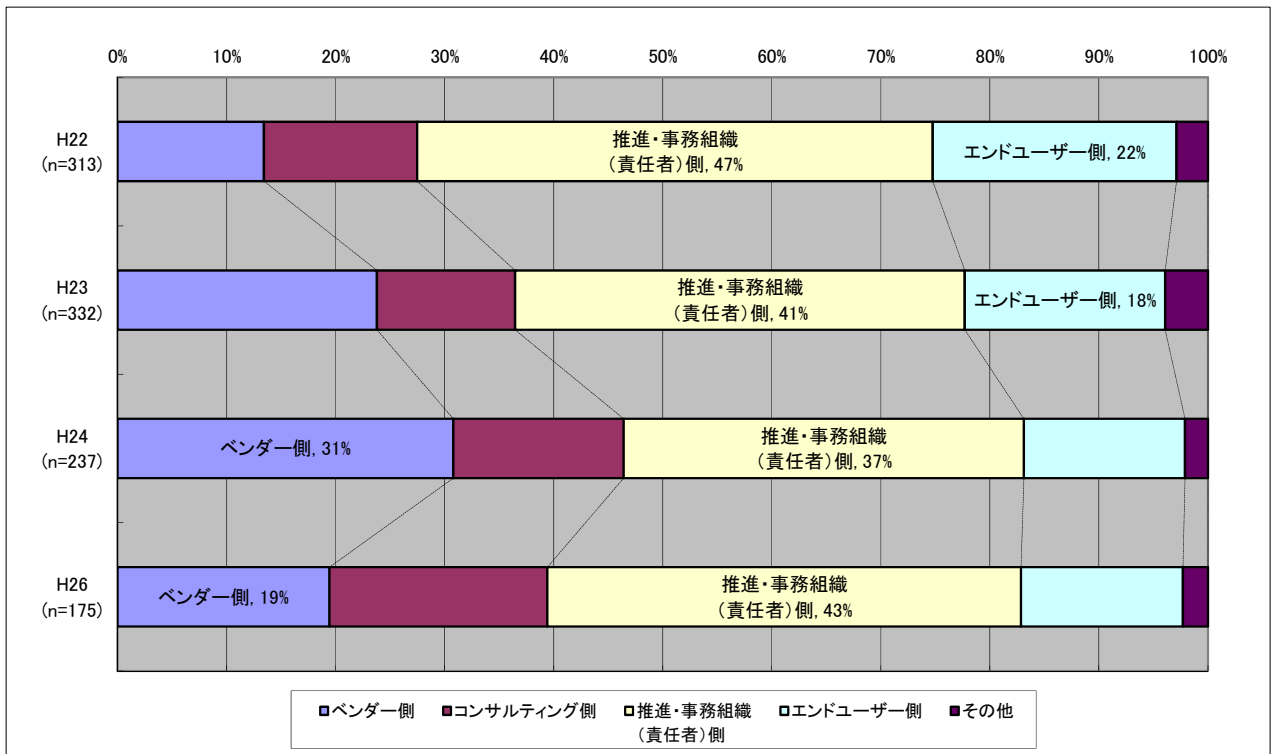
資本金規模の経年変化を見ても、従業員同様「50億円以上」の大企業の参加が増え、全体の3割を占めている。資本金1億円未満の割合は年々減少している。



* 「なし（公共行政・自治体等）」の回答は、H24 から。

(4) SAM に対する立場

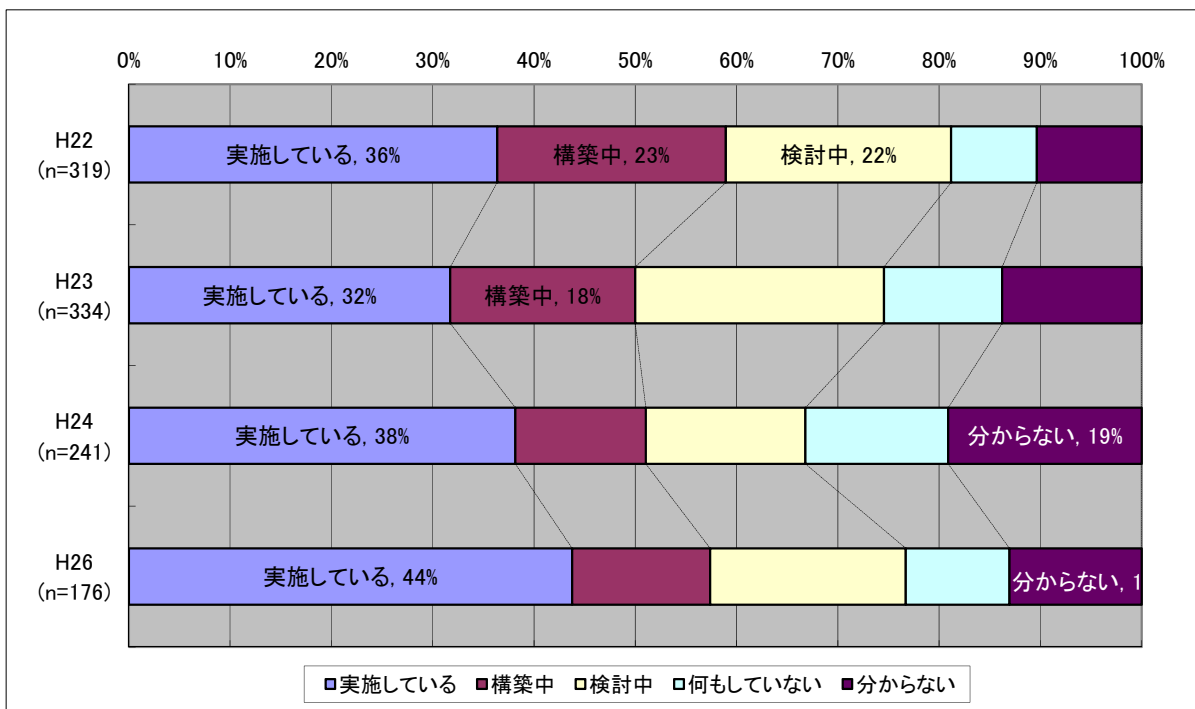
SAM に対する立場で経年変化を見ると、「推進・事務組織」が増加しており、反対に「ベンダー側」及び「エンドユーザー側」が年々減少していることがわかる。



質問2 ソフトウェア資産管理 (SAM) について

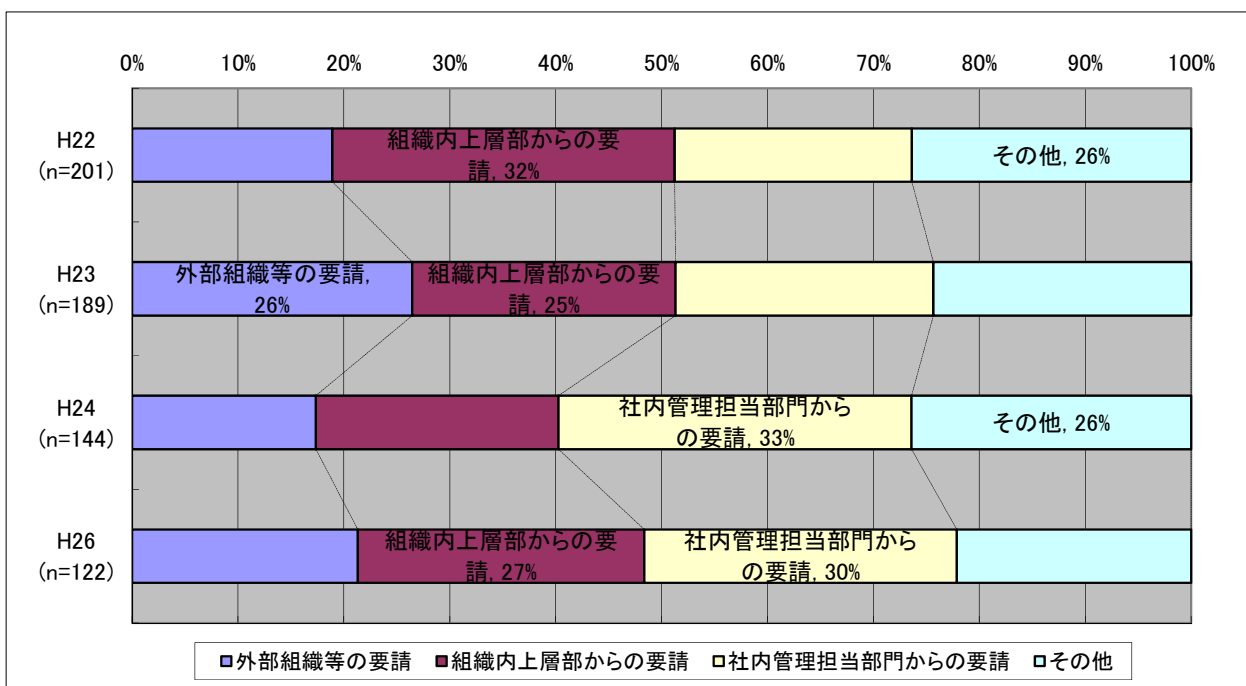
(1) SAM の実施状況

SAM の実施状況についての経年変化を見ると、「実施している」が44%と確実に増加していることが伺える。「構築中・検討中」についても1%~3%と微増している。



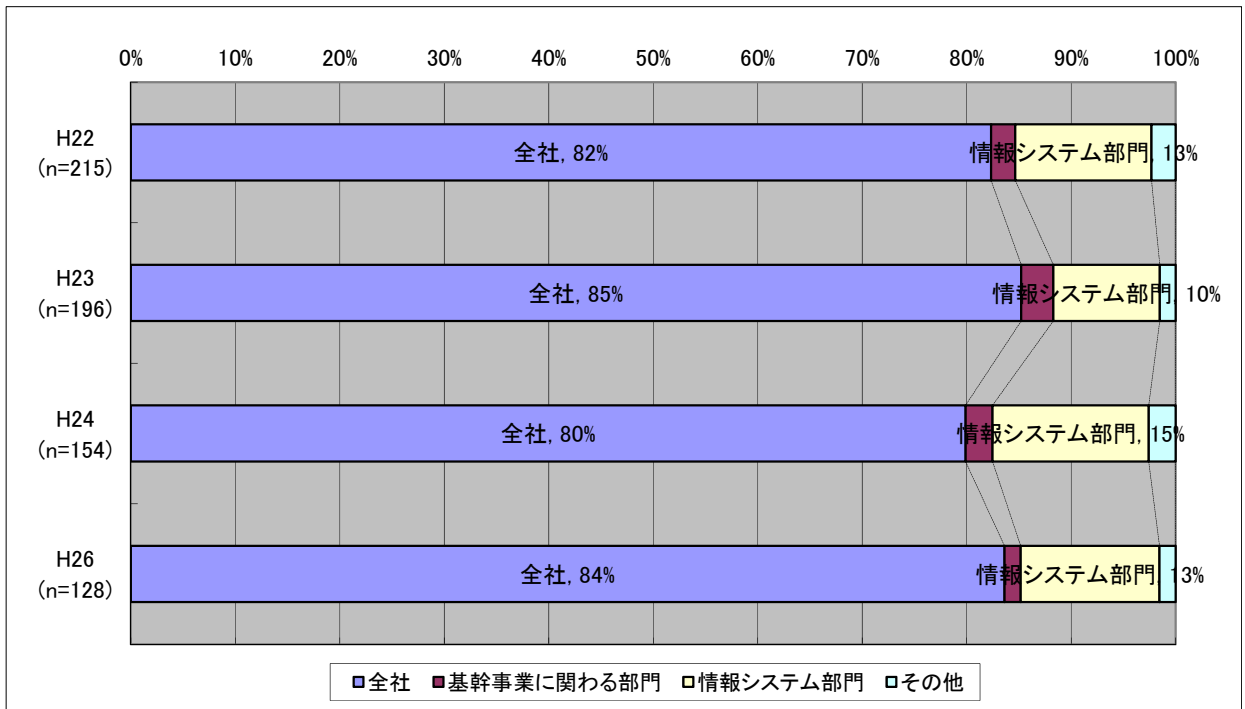
(2) SAM を導入したきっかけ

SAM 導入のきっかけの経年変化を見ると、「社内管理担当部門からの要請」及び「組織内上層部からの要請」が全体の半数以上となっており、SAM に対する。



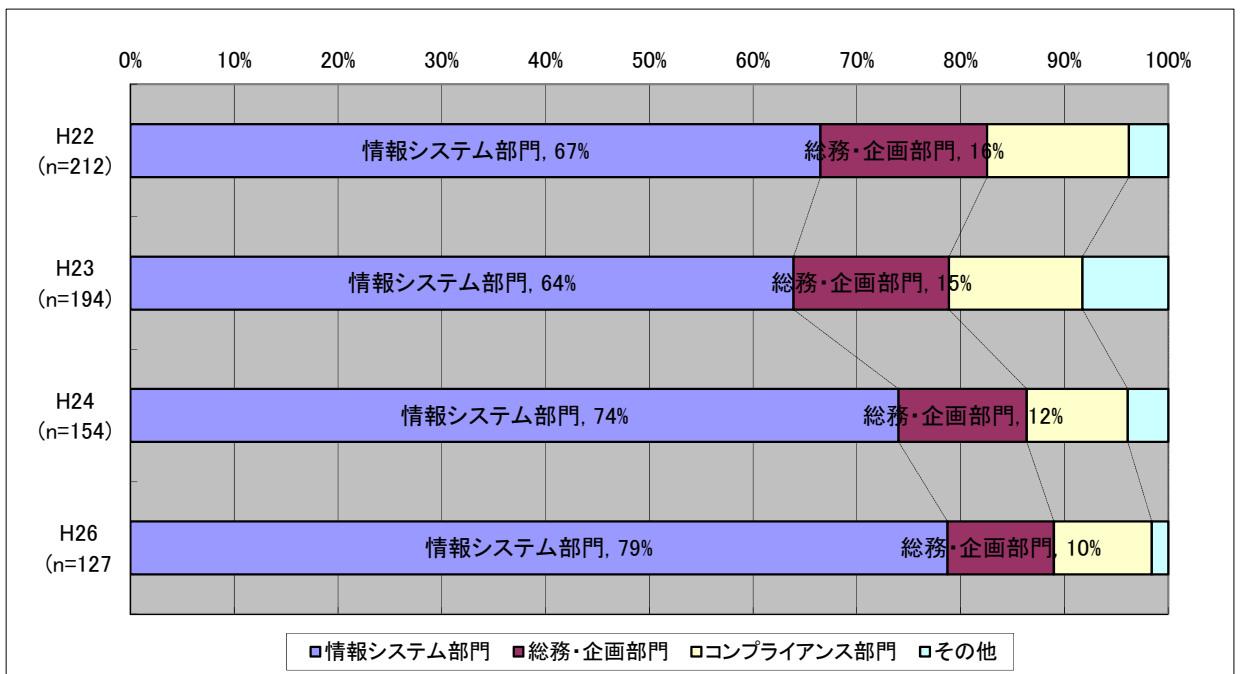
(3) SAMの対象組織（社内組織）

SAMの対象組織についての経年変化は、毎年8割を占めており大きな差はないと思われる。



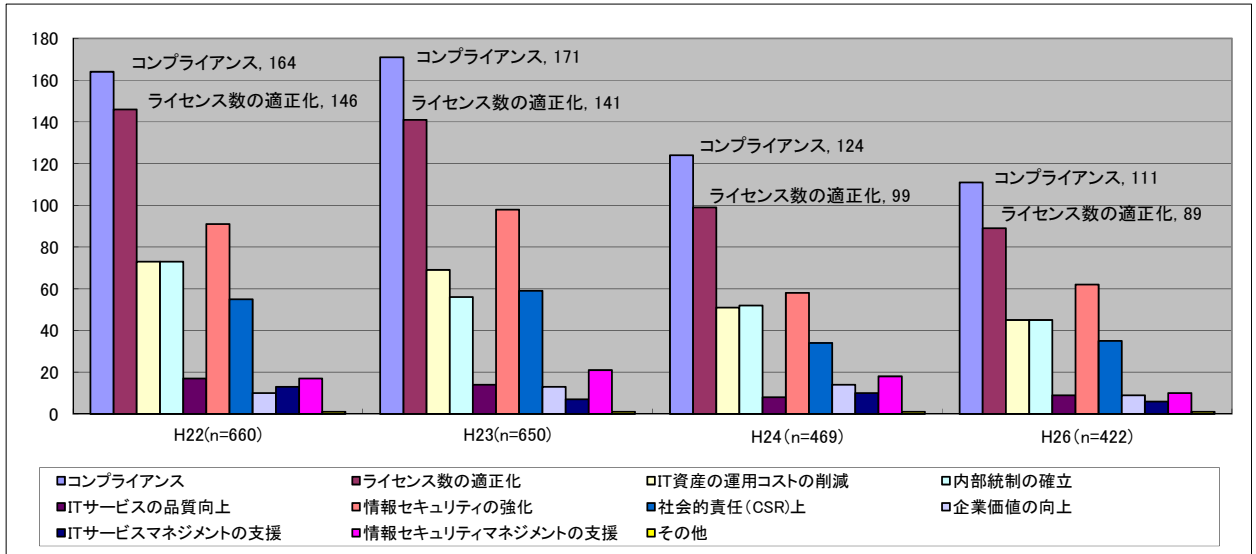
(4) SAMの推進組織（社内組織）

SAMの推進組織については、特に大きな変化はないが「情報システム部門」がH26は全体の8割近くになっている。



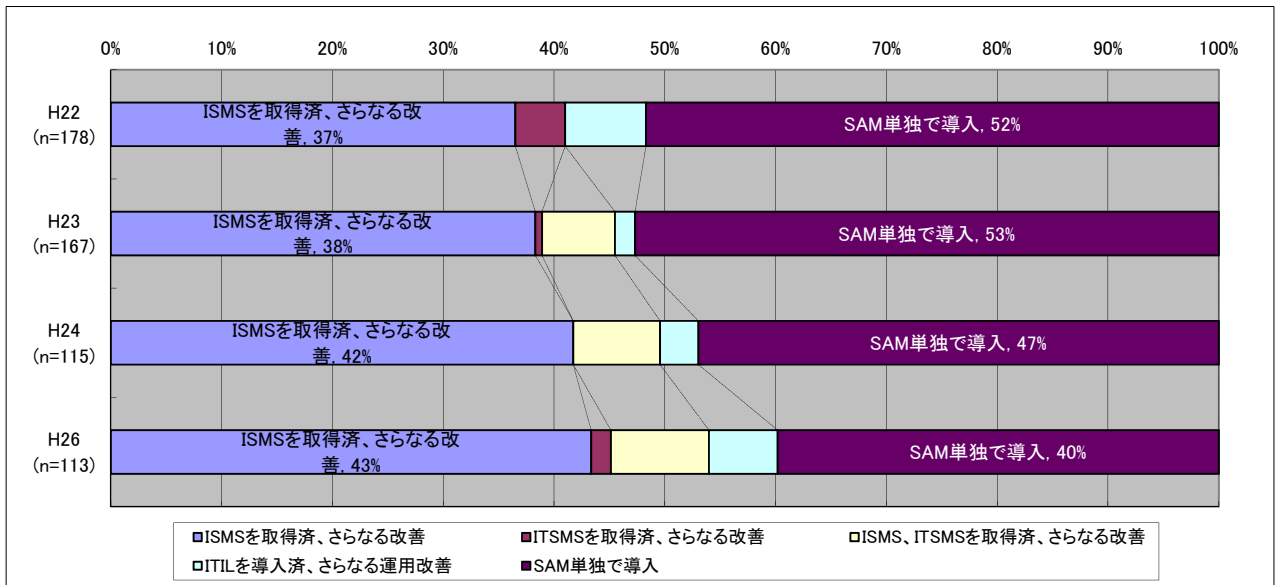
(5) SAM を導入した(導入する)目的

SAMの導入目的を経年変化で見ると、「コンプライアンス」と「ライセンス数の適正化」が毎回上位を占めている。



(6) SAM と ISMS、ITSMS、ITIL の関連

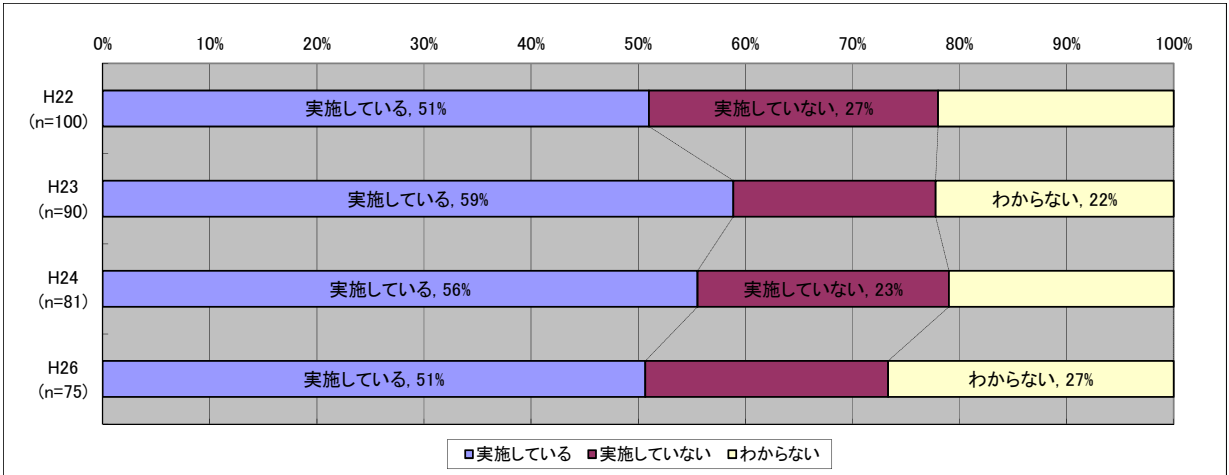
SAMと他規格との関連を経年変化で見ると、H26は「SAM単独導入」より「ISMS取得済企業」が増えている。



* 「ISMS、ITSMS を取得済、さらなる改善」の回答はH23から。

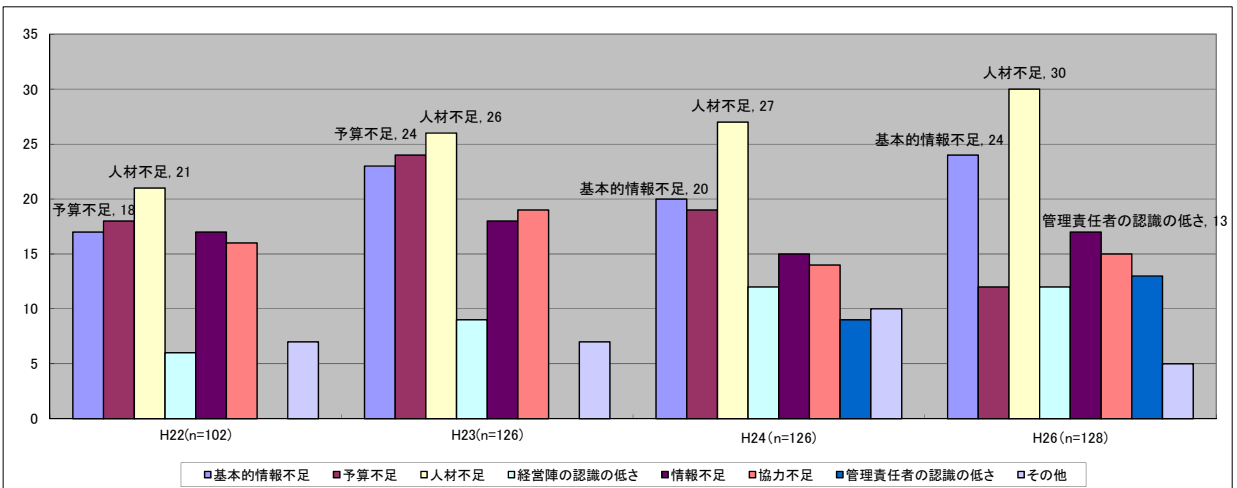
(7) SAM の内部監査

SAM の内部監査を経年変化で見ると、「実施している」組織は 51%~59%と大きな差はないものと思われる。



(8) SAM を導入するにあたり障害となったもの

SAM 導入の障害について経年変化を見ると、「人材不足」、「予算不測」、「基本的情報不足」が上位を占めている。H24 年からは、「管理責任者の認識の低さ」の設問を追加したが 10%に止まっている。



* 「管理責任者の認識の低さ」の回答はH24 から。

4. 参考

IT 資産管理 (ITAM) に関する説明会アンケート

本日は、お忙しい中、「IT 資産管理 (ITAM) に関する説明会」にご参加いただきありがとうございます。お手数ですが、下記のアンケートにご協力をお願いします。なお、ご回答は、該当番号に○印をお付けいただくか、もしくは記入欄にご記入ください。

| |
|---|
| 業種：□情報処理 □サービス □製造 □建設 □機械製造 □公共行政 □自治体 □教育関係 □印刷 □医療 □通信 □卸売・小売 □金融 □コンサルティング □その他 () 複数業種に関連する場合は、主力業種1つのみレ印をつけて下さい。 |
| 従業員数：□100 人未満 □100 人～300 人未満 □300 人～1,000 人未満 □1,000 人～5,000 人未満 □5,000 人以上 |
| 資本金：□1,000 万円未満 □1,000 万円～1 億円 □1 億円～10 億円 □10 億円～50 億円 □50 億円以上 □なし (公共行政・自治体等) |

■質問 1. あなたの職種、役職等についてお聞かせ下さい。

質問 1-1 職種

| | | | | | |
|-------------|-----------|------------|----------|----------|-------|
| 1. 情報システム | 2. 総務・人事 | 3. 経理・財務 | 4. 生産・業務 | 5. 経営・企画 | 6. 営業 |
| 7. ファシリティ管理 | 8. 顧客サービス | 9. その他 () | | | |

質問 1-2 役職

| | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 役員 | 2. 管理職 | 3. 専門職 | 4. 一般職 | 5. その他 |
|-------|--------|--------|--------|--------|

質問 1-3 SAM に対する立場

| | | |
|-------------|--------------|--------------------|
| 1. ベンダー側 | 2. コンサルティング側 | 3. 推進・事務組織 (責任者) 側 |
| 4. エンドユーザー側 | 5. その他 () | |

質問 1-4 説明会の参加目的

| | | | |
|---------|----------|----------|------------|
| 1. 情報収集 | 2. 教育・研修 | 3. 構築・支援 | 4. その他 () |
|---------|----------|----------|------------|

■質問 2. ソフトウェア資産管理 (SAM) についてお聞かせ下さい。

質問 2-1 御社の SAM の実施状況についてお聞かせください。

| | | | | |
|-----------|--------|--------|------------|----------|
| 1. 実施している | 2. 構築中 | 3. 検討中 | 4. 何もしていない | 5. 分からない |
|-----------|--------|--------|------------|----------|

質問 2-2 質問 2-1 で「1. 2. 3.」のいずれかを選択された方に伺います。なお、「4. 5.」を選択された方は、質問 3 へお進み下さい。

① SAM の導入にはどのくらいの期間がかかりましたか。(かける予定ですか)

| | | | | |
|----------|------------------|-----------------|----------------|------------------|
| 1. 三ヶ月未満 | 2. 三ヶ月～ 六ヶ月未満 | 3. 六ヶ月～ 一年未満 | 4. 一年～ 二年未満 | 5. 二年以上 () 年 |
|----------|------------------|-----------------|----------------|------------------|

② SAM を導入したきっかけをお聞かせ下さい。(導入予定含む)

| | | | |
|-------------|----------------|------------------|--------|
| 1. 外部組織等の要請 | 2. 組織内上層部からの要請 | 3. 社内管理担当部門からの要請 | 4. その他 |
|-------------|----------------|------------------|--------|

③ SAM の対象組織 (社内組織) についてお聞かせください。

| | | | |
|-------|---------------|-------------|------------|
| 1. 全社 | 2. 基幹事業に関わる部門 | 3. 情報システム部門 | 4. その他 () |
|-------|---------------|-------------|------------|

④ SAM の推進組織 (社内組織) についてお聞かせください。

| | | |
|-------------|------------|---------------|
| 1. 情報システム部門 | 2. 総務・企画部門 | 3. コンプライアンス部門 |
| 4. その他 () | | |

⑤ SAMを導入した(導入する)目的についてお聞かせください(複数回答可)

| | | |
|-----------------------|----------------|--------------------|
| 1. コンプライアンス | 2. ライセンス数の適正化 | 3. IT資産の運用コストの削減 |
| 4. 内部統制の確立 | 5. ITサービスの品質向上 | 6. 情報セキュリティの強化 |
| 7. 社会的責任(CSR)上 | 8. 企業価値の向上 | 9. ITサービスマネジメントの支援 |
| 10. 情報セキュリティマネジメントの支援 | 11. その他 () | |

⑥ SAMとISMS、ITSMS、ITILの関連についてお聞かせください。

| |
|---|
| 1. ISMS認証を取得しており、さらなる改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 2. ITSMS認証を取得しており、さらなる改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 3. ISMS、ITSMSの認証を取得しており、さらなる改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 4. ITILを導入済みであり、さらなる運用改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 5. 現在、ISMS、ITSMSの認証取得及びITILの導入はなく、SAM単独で導入した(導入する)。 |

⑦ SAMを導入するにあたり参考にした(する予定の)ガイドラインは何ですか。(複数回答可)

| | |
|---|---|
| 1. ISO「ISO/IEC 19770-1 (JIS X0164-1)」 | 2. 経済産業省「ソフトウェア管理ガイドライン」 |
| 3. 経済産業省「システム管理基準」 | 4. 一般社団法人 ソフトウェア資産管理評価認定協会 (SAMAC) 「ソフトウェア資産管理基準 Ver3.0 (Ver4.1)」 |
| 5. ビジネス ソフトウェア アライアンス (BSA) 「ソフトウェア資産管理対策基準・手順書 Ver1.0」 | 6. TSO「ITIL Software Asset Management」 |
| 7. 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) 「SAM ユーザーズガイドー導入のための基礎ー」 | 8. 日本規格協会 「ソフトウェア資産管理の基礎と実践」 |
| 9. 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) 「地方公共団体におけるソフトウェア資産管理 (SAM) 導入ガイド」 | 10. その他 () |

質問2-3 質問2-1で「1.実施している」を選択された方に伺います。

① SAMの内部監査を実施していますか。

| | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 実施している | 2. 実施していない | 3. 分からない |
|-----------|------------|----------|

② ①で「1. 実施している」を選択された方に伺います。SAMの内部監査の実施部門(内部監査を実施している組織)についてお聞かせ下さい。

| | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 監査部門 | 2. 情報システム部門 | 3. 総務・企画部門 |
| 4. その他 () | | |

③ SAMの外部監査を受けていますか。

| | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない | 3. 分からない |
| 理由: | 理由: | |

④ SAMを導入するにあたり障害となったものは何ですか。(複数回答可)

| | | | |
|-------------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 1. SAM そのものの 基本的情報不足 | 2. 予算不足 | 3. 人材不足 | 4. 経営陣の認識の低さ |
| 5. SAM構築に必要な情報 不足 | 6. 他部門・現場の 協力不足 | 7. 管理責任者の 認識の低さ | 8. その他 () |

⑤ SAMの実施後に出た課題がありましたらお聞かせ下さい。

| | | |
|-------------------|------------|-----------|
| 1. 課題はない | 2. 予算が足りない | 3. 人材がいない |
| 4. SAMの運用に必要な情報不足 | 5. その他 () | |

⑥ SAMの成熟度(組織のSAMの実施状況のレベル)についてお聞かせ下さい。

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 成熟度レベル5 最適化されている段階 | ソフトウェア資産管理を取り巻く環境の変化に対応し、最適な管理を実施するため、随時及び定期的に、ソフトウェア資産管理を見直している。最も評価(成熟度)が高い。 |
| 2. 成熟度レベル4 管理されている段階 | 定められた方針・規程、管理体制などに従って管理が実施されていることをモニタリングしている。 |
| 3. 成熟度レベル3 定義されている段階 | 組織全体の方針・規程、管理体制などが適切に定められており、それらの内容に重大な欠陥はない。 |
| 4. 成熟度レベル2 反復可能な段階 | ある程度、組織的な体制があり、継続して管理を実施している。 |
| 5. 成熟度レベル1 初期/場当たりの段階 | 組織的ではなく、担当者など個人に依存して、管理を実施している。 |
| 6. 成熟度レベル0 管理が存在しない段階 | 管理を全く実施していない。最も評価(成熟度)が低い。 |
| 7. わからない | |

■質問3. IT資産管理(ITAM)についてお聞かせ下さい。

質問3-1 御社のITAMの実施状況についてお聞かせください。

| | | | | |
|-----------|--------|--------|------------|----------|
| 1. 実施している | 2. 構築中 | 3. 検討中 | 4. 何もしていない | 5. 分からない |
|-----------|--------|--------|------------|----------|

質問3-2 質問3-1で「1. 2. 3.」のいずれかを選択された方に伺います。なお、「4. 5.」を選択された方は、質問4へお進み下さい。

① ITAMを導入した(導入する)目的についてお聞かせください(複数回答可)

| | | |
|-----------------------|----------------|--------------------|
| 1. コンプライアンス | 2. ライセンス管理 | 3. IT資産の運用コストの削減 |
| 4. 内部統制の確立 | 5. ITサービスの品質向上 | 6. 情報セキュリティの強化 |
| 7. 社会的責任(CSR)上 | 8. 企業価値の向上 | 9. ITサービスマネジメントの支援 |
| 10. 情報セキュリティマネジメントの支援 | 11. その他 () | |

② ITAMとSAM、ISMS、ITSMS、ITILの関連についてお聞かせください。

| |
|--|
| 1. ISMS認証を取得しており、さらなる改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 2. ITSMS認証を取得しており、さらなる改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 3. ISMS、ITSMSの認証を取得しており、さらなる改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 4. ITILを導入済みであり、さらなる運用改善を目指すために導入した(導入する)。 |
| 5. 現在、ISMS、ITSMSの認証取得及びITILの導入はなく、ITAM単独で導入した(導入する)。 |
| 6. 現在、SAMを導入しており、さらなる改善を目指すために導入した(導入する)。 |

③ ITAMを導入・運用するにあたり課題がありましたらお聞かせ下さい。

| |
|--|
| |
|--|

■質問4. IT 資産マネジメントシステム (ITAMS) の認証制度についてお聞かせ下さい。

質問4-1 IT 資産マネジメントシステムの要求事項が ISO で発行され、認証制度が開始されたら、御社で認証の取得を希望しますか。

| | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 認証取得を希望する (理由:) | 2. 認証取得を検討したい (理由:) |
| 3. 認証取得を希望しない (理由:) | 4. 分からない |

質問4-2 IT 資産マネジメントシステムの認証制度が開始された場合、認証制度をどのように活用したいですか。

| | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 認証取得による他企業との差別化 | 2. 第三者である審査機関による客観的な評価 |
| 3. 取引先・子会社への認証取得の推進 | 4. 入札・調達要件への適用 |
| 5. その他 () | |

■質問5. その他

質問5-1 今回の IT 資産管理 (ITAM) に関する説明会は、どのような媒体で知りましたか。

| | | | |
|------------|------------|---------------|---------|
| 1. Web | 2. ベンダーの紹介 | 3. パートナー企業の紹介 | 4. メルマガ |
| 5. その他 () | | | |

質問5-2 今回の IT 資産管理 (ITAM) に関する説明会の評価はどれですか。

| | | | | |
|-------|-------|---------|----------|--------|
| ①講演内容 | 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満足 | 4. 不満足 |
| ②講演時間 | 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満足 | 4. 不満足 |
| ③講演会場 | 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満足 | 4. 不満足 |

質問5-3 講演についてお聞かせ下さい。今回の IT 資産管理 (ITAM) に関する説明会における講師の評価はどれですか。(講演1~講演5)

質問5-4 今後も IT 資産管理 (ITAM) に関する説明会の開催を期待しますか。

| | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

質問5-5 今後取り上げて欲しいテーマ、あるいは講演に関するご感想、ご要望等ございましたらお聞かせ下さい。

| |
|--|
| |
|--|

ご協力いただきありがとうございました。皆様からいただいたコメントやご要望につきましては、今後の検討材料のひとつとして活用させていただきます。

以上